

平成 3 年度  
神戸市埋蔵文化財年報



1 9 9 4

神戸市教育委員会

平成 3 年度  
神戸市埋蔵文化財年報

1 9 9 4

神戸市教育委員会

## 序

神戸市内では、毎年数多くの遺跡が発掘調査によって地下の眠りからめざめ、私たちに古代史の一幕を見せてくれます。

本書は、平成3年度に実施した発掘調査の概要をまとめたもので、市内で発見された古代の人々の生活の記録とも言えます。平成3年度の発掘調査では、「馬の絵」の線刻画が発見された高塚山古墳群、「○」の線刻画が発見された北神ニュータウン内第3地点古墳など全国的にみても貴重な発見がありました。このような市内の遺跡や出土した遺物は、神戸の歴史を解明する資料となります。本書を通してさらに埋蔵文化財に対する理解を深めていただければ幸いです。

また、埋蔵文化財センターも開館2周年を迎え、入館者が10万人を越え、今後とも市民の方々をはじめ、広く皆様に利用される施設として充実を図ってまいりたいと思います。

最後に、教育委員会の各事業の実施にあたり、御協力いただきました関係諸機関、関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成6年3月

神戸市教育委員会

# 例　　言

1. 本書は、神戸市教育委員会が平成3年度に実施した埋蔵文化財事業の概要である。事業に関わる発掘調査は、神戸市文化財専門委員に指導を得て下記の調査組織によって実施した。

## 調査関係者組織表

神戸市文化財専門委員（埋蔵文化財部会委員）

檀上重光　神戸市立博物館副館長

和田晴吾　立命館大学文学部教授

細見啓三　奈良国立文化財研究所建造物研究室長

## 教育委員会事務局

教育長	福尾重信	理事長	緒方学
社会教育部長	松田康宏	副理理事	福尾重信
文化財課長	杉田年章	専務理事	谷明
社会教育部主幹	室谷卓也	常務理事	飯塚日出雄
埋蔵文化財係長	奥田哲通	総務部長	藤井浩
文化財課主査	中村善則・渡辺伸行	総務課長	石坪正之
事務担当学芸員	口野博史・西岡誠司	文化財調査係長	中村善則
"	松林宏典	(文化財調査主査兼務)	
調査担当学芸員	菅本宏明	調査担当学芸員	丸山潔
"	千種浩（保存科学担当）	"	西岡巧
"	黒田恭正	"	丹治明
"	谷正俊	"	安田康滋
"	山本雅和	"	前田久英
"	須藤宏	"	山口正人
"	佐伯二郎	"	富山真哉
"	東喜代秀	"	斎藤誠吾
"	池田毅	"	内谷格
"	松林宏典	"	浅井太郎
"	阿部敬生	"	井藤太郎
"	橋詰清孝	"	
"	川上厚志		

2. 本書に掲載した位置図は、神戸市立中学校教育研究会社会科研究部編集（神戸市スポーツ教育公社発行）の5万分の1神戸市全国を、各遺跡の位置図は、神戸市発行2500分の1地形図を使用した。

3. 本書は、埋蔵文化財発掘調査一覧表に示した各調査担当者が執筆して作成し、山本雅和が編集を行った。

4. 表紙写真は高塚山2号墳の馬の線刻画近景（奈良国立文化財研究所 牛嶋茂氏撮影）、裏表紙写真は新方遺跡大日地点第2次調査出土の玉製品（楠華堂 楠本真紀子氏撮影）である。なお、本文掲載写真のうち、高塚山古墳群の遺構写真は牛嶋茂氏撮影、各遺跡の遺物写真は楠本真紀子氏撮影である。

# 目 次

## 序 例言

I. 平成 3 年度 事業の概要	1
平成 3 年度 埋蔵文化財発掘調査一覧	6
平成 3 年度 埋蔵文化財発掘調査事業別一覧	11
平成 3 年度 神戸市埋蔵文化財調査地位置図	15
II. 平成 3 年度の発掘調査	21
1. 神出・東遺跡	21
2. 西神ニュータウン内第36号地点遺跡	25
3. 玉津田中遺跡 平野地区 第 5 次調査	27
4. 印路遺跡	41
5. 出合遺跡 第27次調査	47
6. 出合遺跡 第28次調査	51
7. 柄木遺跡 第 7 次調査	53
8. ニッ屋東遺跡	61
9. 水谷遺跡	67
10. 高津橋・岡遺跡 第 3 次調査	73
11. 新方遺跡大日地点 第 2 次調査	77
12. 高塚山古墳群 第 1 次調査	85
13. 垂水・日向遺跡 第 5 次調査	93
14. 大田町遺跡	101
15. 神楽遺跡 第 7 次調査	109
16. 長田神社境内遺跡 第 5 次調査	119
17. 五番町遺跡	127
18. 雲井遺跡 第 4 次調査	133
19. 旧三宮駅構内遺跡 第 2 次調査 V・VI 区	141
20. 日暮遺跡 第 4 次調査	145
21. 八幡遺跡	153
22. 滝ノ奥遺跡	159
23. 篠原南町遺跡	171
24. 郡家遺跡 篠ノ坪地区 第 2 次調査	175
25. 郡家遺跡 御影中町地区 第 5 次調査	183
26. 北神ニュータウン内第 2・3 地点古墳	191
27. 宅原遺跡 宮ノ元地区	201
28. 龍ヶ坪遺跡 第 2 次調査	211
29. 上津遺跡	217
30. 上津遺跡	225
31. 渓河・中村遺跡	235
32. 行原遺跡 第 2・4 次調査	245
III. 平成 3 年度の保存科学処理	255

# 挿図目次

fig. 1	神戸市埋蔵文化財センター外観 〔写真〕	1
fig. 2	「伊川谷の遺跡展」〔写真〕	2
fig. 3	調査地点の位置	21
fig. 4	調査地区平面図	22
fig. 5	調査地区全景（南から）〔写真〕	23
fig. 6	S X01・02、S D01・02（東から）〔写 真〕	23
fig. 7	S B01柱穴列（北から）〔写真〕	23
fig. 8	P12遺物出土状況〔写真〕	24
fig. 9	出土遺物実測図	24
fig. 10	調査地点の位置	25
fig. 11	調査地区平面図	25
fig. 12	調査地区全景（南から）〔写真〕	26
fig. 13	S K01全景（西から）〔写真〕	26
fig. 14	S K01土器出土状況（西から） 〔写真〕	26
fig. 15	須恵器杯身出土状況〔写真〕	26
fig. 16	出土遺物実測図	26
fig. 17	調査地点の位置	27
fig. 18	8トレンチ中世の水田面全景（東から） 〔写真〕	28
fig. 19	8トレンチ中世の遺構面全景（西から） 〔写真〕	28
fig. 20	7トレンチ古墳時代前期の遺構平面図	29
fig. 21	7トレンチ古墳時代前期の流路（東か ら）〔写真〕	29
fig. 22	7トレンチ古墳時代前期の流路（東か ら）〔写真〕	29
fig. 23	7トレンチ北端古墳時代の流路平面図	30
fig. 24	S K751全景（西から）〔写真〕	30
fig. 25	S K751土器出土状況（西から） 〔写真〕	30
fig. 26	7トレンチ北端弥生時代後期の流路平 面図	31
fig. 27	S D752近景（東から）〔写真〕	32
fig. 28	S D753～755全景（西から）〔写真〕	32
fig. 29	堰近景（南から）〔写真〕	32
fig. 30	一木鋤出土状況〔写真〕	32
fig. 31	7・9トレンチ弥生時代の上層水田平 面図	33
fig. 32	7トレンチ弥生時代の上層水田近景（南 から）〔写真〕	34
fig. 33	7トレンチ弥生時代の上層水田全景（北 から）〔写真〕	34
fig. 34	8トレンチ第6遺構面全景（東から）〔写 真〕	34
fig. 35	S K801近景（北から）〔写真〕	34
fig. 36	9トレンチ第1遺構面平面図	35
fig. 37	9トレンチ第1遺構面近景（北から）〔写 真〕	35
fig. 38	9・10トレンチ第2遺構面平面図	36
fig. 39	9トレンチ第2遺構面近景（北から）〔写 真〕	36
fig. 40	10トレンチ第2遺構面全景（西から）〔写 真〕	36
fig. 41	9トレンチ第3遺構面近景（北から）〔写 真〕	37
fig. 42	9トレンチ第4遺構面全景（南から）〔写 真〕	37
fig. 43	9トレンチ第4遺構面近景（南から）〔写 真〕	37
fig. 44	9トレンチ弥生時代の下層水田平面図	38
fig. 45	9トレンチ弥生時代の下層水田全景（北 から）〔写真〕	38
fig. 46	9トレンチ下層水田近景（西から）〔写 真〕	38
fig. 47	9トレンチ下層水田近景（南から）〔写 真〕	38
fig. 48	9トレンチの出土遺物実測図	39
fig. 49	調査地点の位置	41
fig. 50	調査区設定図	42
fig. 51	1トレンチ第1遺構面全景（北から）〔写 真〕	42
fig. 52	2トレンチ第3遺構面全景（東から）〔写 真〕	42
fig. 53	1・2トレンチ第3遺構面平面図	43
fig. 54	1トレンチ南北第3遺構面近景（北か ら）〔写真〕	43
fig. 55	2トレンチ畦畔の断面〔写真〕	43

fig.56	3・4トレンチ平面図	44
fig.57	3トレンチ第1遺構面全景(南から)〔写真〕	45
fig.58	3トレンチ南半第2遺構面近景(南北から)〔写真〕	45
fig.59	4トレンチ第3遺構面近景(東から)〔写真〕	45
fig.60	出土遺物実測図	46
fig.61	調査地点の位置	47
fig.62	空から見た調査地区	48
fig.63	S T04全景(南から)〔写真〕	49
fig.64	S D06土器出土状況(南から)〔写真〕	49
fig.65	流路01 S X01全景(南から)〔写真〕	49
fig.66	流路04 水路状施設近景(東から)〔写真〕	49
fig.67	方形周溝墓群全景(南から)〔写真〕	50
fig.68	調査地点の位置	51
fig.69	調査区平面図	52
fig.70	1トレンチ北半の遺構(北西から)〔写真〕	52
fig.71	2トレンチ遺物出土状況	52
fig.72	調査地点の位置	53
fig.73	第1遺構面平面図	54
fig.74	第1遺構面全景(西から)〔写真〕	55
fig.75	第2遺構面全景(西から)〔写真〕	55
fig.76	第2・3遺構面平面図	56
fig.77	第2・3遺構面全景(東から)〔写真〕	57
fig.78	第3遺構面全景(西から)〔写真〕	57
fig.79	S X02遺物出土状況(北から)〔写真〕	57
fig.80	S X02実測図	57
fig.81	S X04実測図	58
fig.82	S K04実測図	58
fig.83	S K04全景(北西から)〔写真〕	58
fig.84	S X04全景(北西から)〔写真〕	59
fig.85	S X03遺物出土状況(北東から)〔写真〕	59
fig.86	S D08実測図	59
fig.87	S D08遺物出土状況(南から)〔写真〕	59
fig.88	出土遺物実測図	60
fig.89	調査地点の位置	61
fig.90	調査区全景〔写真〕	62
fig.91	遺構配置図	63
fig.92	S D01全景(南から)〔写真〕	64
fig.93	S D01弥生土器出土状況(南から)〔写真〕	64
fig.94	S D01・02断面図	64
fig.95	S D01・02断面(北から)〔写真〕	64
fig.96	S D02全景(北から)〔写真〕	65
fig.97	S K02土器出土状況〔写真〕	65
fig.98	出土遺物実測図	66
fig.99	調査地点の位置と配置	67
fig.100	空から見た調査地区全景(南から)〔写真〕	68
fig.101	調査区平面図	69
fig.102	Bトレンチ遺構平面図	70
fig.103	CトレンチS B01全景(南から)〔写真〕	71
fig.104	BトレンチS B02全景(西から)〔写真〕	71
fig.105	BトレンチS B03全景(北から)〔写真〕	71
fig.106	BトレンチS B04全景(東から)〔写真〕	71
fig.107	BトレンチS B05全景(西から)〔写真〕	71
fig.108	BトレンチS B06全景(東から)〔写真〕	71
fig.109	調査地点の位置	73
fig.110	調査区設定図	74
fig.111	調査区全景(東から)〔写真〕	74
fig.112	調査区平面図	74
fig.113	A区全景(北から)〔写真〕	75
fig.114	E区全景(北から)〔写真〕	75
fig.115	F区全景(北から)〔写真〕	75
fig.116	G区全景(北から)〔写真〕	75
fig.117	出土須恵器実測図	76
fig.118	調査地点の位置	77
fig.119	第1遺構面全景(南から)〔写真〕	78
fig.120	第2遺構面全景(南から)〔写真〕	78
fig.121	第3遺構面・第4遺構面平面図	79
fig.122	第3遺構面全景(北から)〔写真〕	80
fig.123	第4遺構面全景(北から)〔写真〕	80
fig.124	第5遺構面南半全景(北から)〔写真〕	80
fig.125	第5遺構面・第6遺構面平面図	81
fig.126	S X303平面図	82

fig. 127 S X 303土器出土状況（東から）〔写真〕	82
fig. 128 S X 303完掘状況（東から）〔写真〕	82
fig. 129 S X 304全景（南から）〔写真〕	83
fig. 130 S X 304壺出土状況（南から）〔写真〕	83
fig. 131 S X 304猪の下頸骨出土状況（南から）〔写真〕	83
fig. 132 第6遺構面南半全景（北から）〔写真〕	84
fig. 133 出土したⅡ様式の弥生土器（楠華堂撮影）〔写真〕	84
fig. 134 高塚山古墳群分布図	85
fig. 135 1～6号墳全景（北方上空から）〔写真〕	86
fig. 136 2～6号墳全景（南上空から）〔写真〕	86
fig. 137 2号墳石室全景（南から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕	87
fig. 138 2号墳石室全景（南から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕	87
fig. 139 2号墳玄室左側壁の線刻画石材の位置（南西から）（牛嶋茂撮影）〔写真〕	88
fig. 140 2号墳左側壁の線刻画近景（西から）（牛嶋茂撮影）〔写真〕	88
fig. 141 3号墳石室全景（東から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕	89
fig. 142 4号墳石室全景（北東から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕	90
fig. 143 6号墳石室全景（北東から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕	91
fig. 144 2・4・6号墳全景（北から）（牛嶋茂氏撮影）〔写真〕	92
fig. 145 調査地点の位置	93
fig. 146 第1遺構面平面図	94
fig. 147 第1遺構面全景（整地層上面）（南から）〔写真〕	95
fig. 148 第1遺構面全景〔空中写真〕	95
fig. 149 第1遺構面掘立柱建物址（北から）〔写真〕	95
fig. 150 第2遺構面平面図	96
fig. 151 第2遺構面全景（北から）〔写真〕	97
fig. 152 S B01全景（南東から）〔写真〕	97
fig. 153 S B02全景（東から）〔写真〕	97
fig. 154 S B11全景（北から）〔写真〕	98
fig. 155 大型植物化石出土状況（北から）〔写真〕	98
fig. 156 大型植物化石出土状況	99
fig. 157 最終面全景（北から）〔写真〕	100
fig. 158 調査区西壁の土層断面〔写真〕	100
fig. 159 調査地点の位置	101
fig. 160 第2遺構面平面図	103
fig. 161 第2遺構面全景（北から）〔写真〕	103
fig. 162 S B202全景（北から）〔写真〕	104
fig. 163 S B203全景（北から）〔写真〕	104
fig. 164 S K203近景〔写真〕	104
fig. 165 S K202全景（南から）〔写真〕	104
fig. 166 E 1 P 201、D 1 P 201、D 1 P 208（南から）〔写真〕	104
fig. 167 S X 205・206全景（西から）〔写真〕	104
fig. 168 第3遺構面平面図	106
fig. 169 第3遺構面全景（北から）〔写真〕	107
fig. 170 S B304全景（北から）〔写真〕	107
fig. 171 S K301全景（西から）〔写真〕	107
fig. 172 S K302全景（南から）〔写真〕	107
fig. 173 出土した土器（楠華堂撮影）	108
fig. 174 調査地点の位置	109
fig. 175 第1遺構面平面図	110
fig. 176 第1遺構面全景（南から）〔写真〕	111
fig. 177 第2遺構面平面図	112
fig. 178 第2遺構面全景（北から）〔写真〕	113
fig. 179 壁穴住居址1と掘立柱建物址1～3全景（北から）〔写真〕	114
fig. 180 出土遺物実測図	115
fig. 181 掘立柱建物址3（南から）〔写真〕	116
fig. 182 掘立柱建物址5（西から）〔写真〕	116
fig. 183 弥生時代の河道全景（南から）〔写真〕	116
fig. 184 河道出土の弥生土器実測図	117
fig. 185 青灰色粗砂層内土器出土状況	118
fig. 186 調査地点の位置	119
fig. 187 北地区第2遺構面全景（北から）〔写真〕	120
fig. 188 S K02近景（南から）〔写真〕	120
fig. 189 北地区第3遺構面全景（北から）〔写真〕	121
fig. 190 南地区第1遺構面全景（北から）〔写真〕	121
fig. 191 南地区第2遺構面全景（北から）〔写真〕	121

fig. 192 南地区第3遺構面（上層）全景（南から）〔写真〕	122	fig. 229 空からみた調査地点（北から）〔写真〕	140
fig. 193 第3遺構面平面図	123	fig. 230 調査地点の位置	141
fig. 194 S B04・05・08全景（北から）〔写真〕	123	fig. 231 VI区西半全景（北から）〔写真〕	142
	123	fig. 232 VI区東半全景（北から）〔写真〕	142
fig. 195 S B01全景（東から）〔写真〕	123	fig. 233 VI区平面図	143
fig. 196 S B02全景（北から）〔写真〕	123	fig. 234 S B301全景（北から）〔写真〕	144
fig. 197 S B04全景（東から）〔写真〕	123	fig. 235 調査地点の位置	145
fig. 198 S B08全景（東から）〔写真〕	123	fig. 236 第2遺構面平面図	146
fig. 199 S B11全景（東から）〔写真〕	124	fig. 237 S B01実測図	147
fig. 200 S B14全景（北から）〔写真〕	124	fig. 238 S B01全景（東から）〔写真〕	147
fig. 201 南地区第4遺構面平面図	125	fig. 239 S B01とS X01（南から）〔写真〕	148
fig. 202 南地区第4遺構面全景（北から）〔写真〕	125	fig. 240 S B01床面土器検出状況（北西から）〔写真〕	148
	125	fig. 241 S B02実測図	148
fig. 203 S B06全景（東から）〔写真〕	125	fig. 242 S B02全景（南から）〔写真〕	148
fig. 204 S B09全景（南から）〔写真〕	125	fig. 243 S B03実測図	149
fig. 205 調査地点の位置	127	fig. 244 S B03全景（南から）〔写真〕	149
fig. 206 調査区位置図	128	fig. 245 壓穴住居址出土土器実測図	149
fig. 207 第1調査区第1遺構面全景〔垂直写真〕	128	fig. 246 S X01掘立状况（南から）〔写真〕	150
	128	fig. 247 S X01埋没状况〔写真〕	150
fig. 208 第1調査区第1遺構面全景（北から）〔写真〕	128	fig. 248 南半区第1遺構面全景（北から）〔写真〕	150
	128	fig. 249 第1遺構面平面図	151
fig. 209 第1調査区第1遺構面平面図	129	fig. 250 S K08全景（南から）〔写真〕	152
fig. 210 第1調査区第2遺構面平面図	130	fig. 251 調査地点の位置	153
fig. 211 第1調査区第2遺構面全景〔垂直写真〕	131	fig. 252 調査区平面図	154
	131	fig. 253 調査区北半全景（西から）〔写真〕	154
fig. 212 第1調査区第2遺構面全景（南から）〔写真〕	131	fig. 254 調査区南半全景（北から）〔写真〕	154
	131	fig. 255 S B01実測図	155
fig. 213 S B12完掘状況（東から）〔写真〕	131	fig. 256 S B02実測図	155
fig. 214 第2調査区全景（南から）〔写真〕	132	fig. 257 S B03実測図	155
fig. 215 下層の流路全景（北から）〔写真〕	132	fig. 258 S B01とS B03（西から）〔写真〕	155
fig. 216 調査地点の位置	133	fig. 259 S B04実測図	156
fig. 217 調査区平面図	134	fig. 260 S B05実測図	156
fig. 218 第1遺構面全景（南から）〔写真〕	135	fig. 261 挖立柱建物址ピット内の出土遺物実測図	157
fig. 219 第3遺構面南半全景（北から）〔写真〕	136		157
	136	fig. 262 包含層の出土遺物実測図(1)	157
fig. 220 集石2実測図	136	fig. 263 包含層の出土遺物実測図(2)	158
fig. 221 集石2全景（東から）〔写真〕	137	fig. 264 調査地点の位置	159
fig. 222 集石8実測図	137	fig. 265 調査地点平面図	160
fig. 223 集石8第1面（東から）〔写真〕	137	fig. 266 調査地区設定図	160
fig. 224 集石8第2面（東から）〔写真〕	137	fig. 267 調査地区遺構平面図	161
fig. 225 S K12実測図	138	fig. 268 調査地区全景（南から）〔写真〕	162
fig. 226 S K12全景（東から）〔写真〕	138	fig. 269 A区S D01全景（北西から）〔写真〕	162
fig. 227 繩文時代早期の土器実測図	139		162
fig. 228 繩文時代早期の土器（楠華堂撮影）〔写真〕	139		162

fig. 270 A区 S B01・S K42平面図	163
fig. 271 S K02全景（南から）〔写真〕	164
fig. 272 S D01全景（南から）〔写真〕	164
fig. 273 C-b 区土器群遺物出土状況（西から） 〔写真〕	164
fig. 274 S T01・02平面図	165
fig. 275 S T01・02全景（北から）〔写真〕	165
fig. 276 S T01炭と骨の出土状況（南から）〔写 真〕	165
fig. 277 C区土坑群全景（空中写真）	165
fig. 278 石器実測図	166
fig. 279 繩文時代早期の土器拓影	166
fig. 280 A区 S B01出土の遺物実測図	167
fig. 281 苗生土器実測図	168
fig. 282 歴史時代の土器実測図	169
fig. 283 調査地点の位置	171
fig. 284 調査対象地区	171
fig. 285 繩文土器実測図	171
fig. 286 断割トレンチ土層断面図	172
fig. 287 第1遺構面平面図	172
fig. 288 断割トレンチ全景（東から）〔写真〕	173
fig. 289 第1遺構面全景（東から）〔写真〕	173
fig. 290 S B01実測図	173
fig. 291 S B01（南から）〔写真〕	174
fig. 292 S B01土器検出状況〔写真〕	174
fig. 293 S B01出土土器実測図	174
fig. 294 調査地点の位置	175
fig. 295 調査区設定図	176
fig. 296 自然河道平面図	176
fig. 297 自然河道全景（西から）〔写真〕	177
fig. 298 自然河道内土器出土状況〔写真〕	177
fig. 299 調査区平面図(1)	177
fig. 300 肄穴住居址実測図	178
fig. 301 肄穴住居址全景（西から）〔写真〕	178
fig. 302 不明石製品実測図	178
fig. 303 調査区平面図(2)	179
fig. 304 調査区全景（西から）〔写真〕	179
fig. 305 D-6・7区土器群	179
fig. 306 自然河道出土土器実測図	180
fig. 307 出土土器実測図	181
fig. 308 調査地点の位置	183
fig. 309 第1遺構面平面図	184
fig. 310 II区第1遺構面全景（西から）〔写真〕	185
fig. 311 I区第1遺構面全景（北から）〔写真〕	185
fig. 312 II区第2遺構面全景（西から）〔写真〕	185
fig. 313 I区第2遺構面全景（北から）〔写真〕	185
fig. 314 II区第3遺構面全景（西から）〔写真〕	185
fig. 315 I区第3遺構面全景（北から）〔写真〕	185
fig. 316 第2遺構面平面図	186
fig. 317 第3遺構面平面図	187
fig. 318 第4遺構面平面図	188
fig. 319 S B01出土土器実測図	189
fig. 320 II区第4遺構面全景（西から）〔写真〕	189
fig. 321 I区第4遺構面全景（北から）〔写真〕	189
fig. 322 S B01全景（南から）〔写真〕	190
fig. 323 S B01土器器出土状況	190
fig. 324 I区第5遺構面全景（北から）〔写真〕	190
fig. 325 調査地点の位置	191
fig. 326 調査地遠景（東から）〔写真〕	192
fig. 327 第2・第3地点全景（南北から）〔写真〕	192
fig. 328 第2・第3地点古墳測量図	192
fig. 329 第2地点古墳測量図	193
fig. 330 第2地点古墳石室実測図	194
fig. 331 第2地点古墳石室全景（南東から）〔写 真〕	195
fig. 332 第2地点古墳石室奥壁（南東から）〔写 真〕	195
fig. 333 第2地点古墳羨道部遺物出土状況（北 西から）〔写真〕	195
fig. 334 第2地点古墳羨道部遺物出土状況（南 西から）〔写真〕	195
fig. 335 第2地点古墳石室入口の遺物（南東か ら）〔写真〕	196
fig. 336 第2地点古墳箱式石棺（南西から）〔写 真〕	196
fig. 337 第2地点古墳に副葬された土器（捕華 堂撮影）〔写真〕	196
fig. 338 第3地点古墳測量図	197
fig. 339 第3地点古墳石室実測図	198
fig. 340 第3地点古墳石室全景（南から）〔写真〕	199

fig. 341 第3地点古墳石室奥壁(南から)〔写真〕	199
fig. 342 第3地点古墳石室左側壁(南西から)〔写真〕	199
fig. 343 第3地点古墳玄室内遺物出土状況(南から)〔写真〕	199
fig. 344 第3地点古墳石室奥壁の線刻(南から)〔写真〕	199
fig. 345 第3地点古墳石室奥壁の線刻近景〔写真〕	199
fig. 346 第3地点古墳出土土器実測図	200
fig. 347 調査地点の位置	201
fig. 348 調査区全景(東から)〔写真〕	202
fig. 349 挖立柱建物址柱穴群(西から)	202
fig. 350 調査区平面図	203
fig. 351 S B01実測図	204
fig. 352 S B01全景(北から)〔写真〕	204
fig. 353 S B02実測図	205
fig. 354 S B03実測図	205
fig. 355 S B02全景(東から)〔写真〕	205
fig. 356 S B03全景(東から)〔写真〕	205
fig. 357 火葬墓近景(東から)〔写真〕	206
fig. 358 S X09全景(東から)〔写真〕	206
fig. 359 S X01近景(南から)〔写真〕	207
fig. 360 S X03検出状況(南から)〔写真〕	207
fig. 361 S X04・05検出近況(南から)〔写真〕	207
fig. 362 S X07検出状況(南から)〔写真〕	207
fig. 363 S X10近景(東から)〔写真〕	208
fig. 364 路路1全景(東から)〔写真〕	208
fig. 365 出土遺物実測図	209
fig. 366 調査地点の位置	211
fig. 367 遺構平面図	212
fig. 368 調査区全景〔写真〕	213
fig. 369 S B01全景(東から)〔写真〕	213
fig. 370 S B02全景(南から)〔写真〕	214
fig. 371 S B02柱穴内根石出土状況	214
fig. 372 S B02柱穴内遺物出土状況	214
fig. 373 S D01とS K01・02(東から)〔写真〕	215
fig. 374 S D02全景(西から)〔写真〕	215
fig. 375 S D02遺物出土状況〔写真〕	215
fig. 376 S D02遺物出土状況〔写真〕	215
fig. 377 S D02出土遺物実測図	215
fig. 378 調査地区遠景(西から)〔写真〕	216
fig. 379 調査地点とトレンチの配置	217
fig. 380 第1トレンチ平面図	218
fig. 381 第1トレンチ全景(北から)〔写真〕	218
fig. 382 S B01全景(東から)〔写真〕	218
fig. 383 第2トレンチA地区水田畔(北西から)〔写真〕	219
fig. 384 第2トレンチA地区水田畔断面〔写真〕	219
fig. 385 第3トレンチA地区平面図	220
fig. 386 第3トレンチA地区S K01出土遺物実測図	221
fig. 387 第3トレンチA地区全景(南から)〔写真〕	221
fig. 388 S K01とピット(南西から)〔写真〕	221
fig. 389 S K01近景(南東から)〔写真〕	222
fig. 390 S K02・03近景(西から)〔写真〕	222
fig. 391 第4トレンチB地区全景(南東から)〔写真〕	223
fig. 392 第1トレンチ出土遺物実測図	224
fig. 393 調査地点の位置	225
fig. 394 3区平面図	226
fig. 395 1区全景(東から)〔写真〕	226
fig. 396 3区全景(北から)〔写真〕	226
fig. 397 5区南半平面図	227
fig. 398 5区全景(南から)〔写真〕	227
fig. 399 5区全景(北から)〔写真〕	227
fig. 400 5区北半平面図	228
fig. 401 5区S T101実測図	229
fig. 402 S T101出土遺物実測図	230
fig. 403 S T101全景(南から)〔写真〕	230
fig. 404 S T101遺物出土状況(西から)〔写真〕	230
fig. 405 S D101・106・107(北西から)〔写真〕	231
fig. 406 挖立柱建物-2全景(西から)〔写真〕	231
fig. 407 4区S D101全景(西から)〔写真〕	232
fig. 408 S D101遺物出土状況〔写真〕	232
fig. 409 S D101護岸杭近景〔写真〕	232
fig. 410 S D105全景(西から)〔写真〕	232
fig. 411 S D101出土遺物実測図	233
fig. 412 調査地点の位置	235
fig. 413 Aトレンチ平面図	236
fig. 414 AトレンチS D01・S A01・S P03～05実測図	236

fig. 415 A トレンチ全景（西から）〔写真〕	237
fig. 416 A トレンチ中央部の遺構（北から）〔写 真〕	237
fig. 417 A トレンチ S A01-1（南から）〔写真〕	237
fig. 418 A トレンチ S A01-2（南から）〔写真〕	237
fig. 419 A トレンチ出土遺物実測図	238
fig. 420 B トレンチ北部・C トレンチ平面図	238
fig. 421 B トレンチ北端部の遺構（南から）〔写 真〕	238
fig. 422 B トレンチ S K01（東から）〔写真〕	238
fig. 423 B トレンチ出土遺物実測図	239
fig. 424 B トレンチ S K02（東から）〔写真〕	240
fig. 425 B トレンチ S K03（南東から）〔写真〕	240
fig. 426 C トレンチ S P01出土遺物実測図	240
fig. 427 E トレンチ全景（東から）〔写真〕	240
fig. 428 E トレンチ平面図	241
fig. 429 E トレンチ S K01実測図	241
fig. 430 E トレンチ S K01全景（北から）〔写真〕	241
fig. 431 F トレンチ平面図	241
fig. 432 E トレンチ出土遺物実測図	242
fig. 433 E トレンチ磁気探査作業風景〔写真〕	243
fig. 434 F トレンチ全景（東から）〔写真〕	243
fig. 435 F トレンチ出土遺物実測図	243
fig. 436 G トレンチ全景（北から）〔写真〕	244
fig. 437 H トレンチ全景（北東から）〔写真〕	244
fig. 438 調査地点の位置	245
fig. 439 調査区平面図	246
fig. 440 1 トレンチ南区全景（南から）〔写真〕	247
fig. 441 S B01平面図	247
fig. 442 S B01全景（南から）〔写真〕	247
fig. 443 S B02平面図	248
fig. 444 S B02全景（北から）〔写真〕	248
fig. 445 S B01・S B02出土遺物実測図	249
fig. 446 S T01・02全景（東から）〔写真〕	249
fig. 447 S T01実測図	250
fig. 448 S T01出土遺物実測図	251
fig. 449 S T01上層（北から）〔写真〕	251
fig. 450 S T01中層（北から）〔写真〕	251
fig. 451 S T01下層（北から）〔写真〕	251
fig. 452 S T01完掘状況（北から）〔写真〕	251
fig. 453 S T02実測図	252
fig. 454 S T02近景（南から）〔写真〕	252
fig. 455 調査区全景（北から）〔写真〕	253
fig. 456 S X01近景（東から）〔写真〕	254
fig. 457 S X01完掘状況（東から）〔写真〕	254
fig. 458 1次樹脂塗布後裏打ガーゼを貼る（印 路遺跡）〔写真〕	255
fig. 459 剥し取る前に標高を記入（印路遺跡）〔写 真〕	255
fig. 460 硬化後断面から剥し取る（印路遺跡）〔写 真〕	255
fig. 461 撲出するため土層転写を巻く（印路遺 跡）〔写真〕	255
fig. 462 石室の石材に強化剤を塗布（北神第2 地点古墳）〔写真〕	256
fig. 463 発泡ウレタンに再転写終了（行原遺跡 火葬土坑）〔写真〕	256
fig. 464 大型P E G 含浸槽設置状況〔写真〕	257
fig. 465 大型P E G 含浸準備〔写真〕	257
fig. 466 発泡ウレタンに梱包して取り上げる〔写 真〕	258
fig. 467 洗浄およびアルコール脱水作業〔写真〕	258
fig. 468 接合・補強作業〔写真〕	258
fig. 469 応急処置の完了した下顎骨（楠華堂撮 影）〔写真〕	258
fig. 470 高塚山2号墳線刻画石材取り上げ〔写 真〕	259
fig. 471 高塚山2号墳線刻画石材展示状況（埋 蔵文化財センター）〔写真〕	259
fig. 472 復製鏡研磨用台の作製〔写真〕	260
fig. 473 復製鏡研磨前と研磨途中〔写真〕	260
fig. 474 屏風遺跡出土の呪符木簡赤外線写真	260
表1 出合遺跡第27次調査 方形周溝墓一覧	49
表2 第2遺構面検出建物一覧表	102
表3 第3遺構面検出建物一覧表	106

## I. 平成3年度 事業の概要

### 1. 普及啓発事業

〔神戸市埋蔵文化財センター開館〕（9月12日）

平成元年度当初より基本設計、実施設計を行い、平成元年12月より建築を着工していた神戸市埋蔵文化財センターが西区耗台6丁目（西神中央公園内）に開館した。地上3階、地下1階の鉄筋コンクリート造で、建築面積は2,801.671m<sup>2</sup>、延床面積は7,043.670m<sup>2</sup>である。

昭和40年代以降の埋蔵文化財に関する業務量の拡大に伴って増加した出土遺物や記録類を集中的に整理・収蔵・展示することを目的とした施設として建設された。約16haの面積を誇る公園内の施設という性格から、従来の埋蔵文化財センターとは趣を異にして、施設の大部分を公開した上で、展示スペースも大きくとり、埋蔵文化財を通して、できるだけ歴史を身近に感じられるような工夫をしている。

調査・整理の面では、市内出土の遺物の水洗、接合・復元、図化、写真撮影などの作業を行う。また、木製品・金属製品などは保存科学作業による処置も施している。

普及・啓発の面では、常設展示室（486m<sup>2</sup>）では『よみがえる神戸の歴史展』と題して、神戸市内の各遺跡から出土した約600点の遺物を展示し、先土器時代～鎌倉時代までの神戸の歴史を通史的に見学することができる。また、1階一般収蔵庫の周囲に回廊を設け、復元の完了した土器（約3000点）の展示とともにコンテナの収蔵状況も見学できるように工夫した。さらに、特別収蔵庫にも小窓を設置し、保存科学処置の完了した木製品の展示を行い、収蔵状況とともに見学できるようにしている。

さらに、開館記念企画展「倭人伝の時代」と題して、10月10日まで企画展示室（187m<sup>2</sup>）で展覧会を開催しました。会期中の入館者は8,418人であった。

収蔵・保管の面では、延床面積の約5割を収蔵スペースとして確保し、それぞれの特性に応じた収蔵庫を設けて資料を保管している。

なお、平成3年9月～平成4年3月末の入館者は、27,722人である。



fig. 1 神戸市埋蔵文化財センター外観

### 〔文化財保護強調月間の催し〕

大歳山遺跡公園（垂水区西舞子4丁目）では、11月1日から11月7までの間、復元した堅穴住居の内部の公開とともに、古代人の生活の一部を実際に体験できるよう、火おこし、脱穀等を行った。

### 〔地域活動への参加〕

市内各地の公民館や学校では、さまざまな地域・文化活動が行われているが、各地域の歴史を地元の方々に知っていただくことを目的に、周辺の遺跡の出土遺物や写真パネルの展示会を開催している。今年度は以下の場所で文化財展を行った。

#### (1) 西区玉津南公民館「文化財展」(5月24日～6月2日)

今年度で7回目の文化財展で、平成2年度に発掘調査を実施した玉津田中遺跡（平野地区）、養田遺跡、鍋谷池2号墳の3遺跡の最新資料を展示公開した。

#### (2) 北区長尾町公民館 第6回長尾町埋蔵文化財展「大むかしの長尾」(11月1日～3日)

上津遺跡、龍ヶ坪遺跡出土の最新の発掘成果を中心に展示公開した。

#### (3) 西区市立有瀬小学校「伊川谷の遺跡展」(6月22日)

西区の市立有瀬小学校の玄関ホールで、西区伊川谷町周辺出土の弥生時代中期～平安時代後期の資料を中心に遺跡・遺物を紹介した。



fig. 2 「伊川谷の遺跡展」

### 〔現地説明会の開催〕

発掘調査の状況や成果を早く市民の方々に知っていただくために、下記のとおり3回の現地説明会を開催し、多くの見学者の参加を得た。

遺跡名	開催年月日
1. 高塚山古墳群 第1次調査	平成3年5月26日
2. 高塚山古墳群 第2次調査	平成4年3月8日
3. 北神第2地点古墳・第3地点古墳	平成4年3月22日

### 〔刊行物〕

平成3年度の埋蔵文化財関係の刊行物は以下の3点である。

1. 雲井遺跡 第1次発掘調査報告書 頒価1,500円
2. 平成元年度 神戸市埋蔵文化財年報 頒価2,700円
3. 神戸市埋蔵文化財分布図(平成3年度版) 頒価1,500円

### 2. 文化財 調査事業

当市における埋蔵文化財の発掘調査件数は年々増加の傾向にあり、今年度は85件となり、前年度比で13件(前年度比18%)増加している。また、緊急発掘調査に要した経費は、8億2千9百万円で、前年度に比べて約8千万円の増加が認められる。発掘調査面積は64,559m<sup>2</sup>で、前年度に比べて約9,600m<sup>2</sup>の増加である。

なお、民間調査団の調査件数は19件で、前年度比37%減と件数では著しく減少している。しかしながら、発掘調査に要した経費は、9億2百万円で、調査面積は41,250m<sup>2</sup>と前年度並の事業が実施されている。

また、開発計画の際に提出される遺跡分布調査依頼件数は267件(開発行為の事前審査、ゴルフ場開発、土地利用目的審査を含む)と前年度より30件減である。また、これらに基づく試掘調査の件数は179件(前年度比1件減)と横ばい状況にあり、国内経済の低迷を反映した結果と言える。

これらを地域別に見ると、昨年度と同様に開発が依然続いている西区での試掘調査が最も多く、旧市街地での件数が全体の半数以上を占めている。

一方、緊急発掘調査の件数でみると、西区と北区が約3割を占める。また、面積では北区が約4割を占め、西区が約3割を占め、北区での調査面積の大きさが継続しており、1件あたりの面積でも北区、垂水区、灘区が1,000m<sup>2</sup>を越えている。

発掘調査原因の事業別件数は、民間事業26件、公共事業59件で、公共事業が全体の約7割の高率を占めている。公共事業のうち、土地改良事業・道路建設事業などが原因の多くを占めている。また、民間事業の場合は、9件が市街地における共同住宅建設工事となっており、その主たる調査原因となっている。

平成3年度埋蔵文化財試掘調査および緊急発掘調査状況

分布	調査件数	試掘調査件数	緊急発掘調査件数	緊急発掘調査面積
東灘区	1	26	8	2,940m <sup>2</sup>
灘 区	5	11	4	4,430m <sup>2</sup>
中央区	1	20	6	2,853m <sup>2</sup>
兵庫区	2	18	3	710m <sup>2</sup>
長田区	0	11	4	2,060m <sup>2</sup>
須磨区	2	3	2	925m <sup>2</sup>
垂水区	3	8	7	7,655m <sup>2</sup>
西 区	10	61	26	18,878m <sup>2</sup>
北 区	12	21	25	26,109m <sup>2</sup>
合 計	36	179	85	66,560m <sup>2</sup>

また、保存科学の面では、遺物の保存科学処理および遺構の切り取り保存・はぎ取り保存の作業をさらに押し進めた。遺物については、金属製品・木製品の継続的な保存科学の作業を実施している（Ⅲ章）。

### 3. 市内の遺跡発掘調査の概要

神戸市内では、上述のとおり年々発掘調査件数が増加し、それに伴って各時代の遺構・遺物に新しい資料が増加している。

**先土器時代**　灘区滝ノ奥遺跡では、ナイフ形石器が発見され、六甲山南麓での先土器時代の資料が新たに加わることとなった。

**縄文時代**　中央区雲井遺跡では、縄文時代早期の集石土坑、土坑などが発見された。

また、滝ノ奥遺跡では縄文時代早期の押型文・撚糸文の土器片とともに有茎尖頭器が1点出土している。同一丘陵上での縄文土器と合計3点の有茎尖頭器の出土は、一定期間の生活の場を想定できる。

垂水区垂水・日向遺跡では、これまでの調査成果を裏付けるように、洪水で流されてきた大型植物化石と縄文時代中期～後期の土器が発見された。

北区上津遺跡では、縄文時代中期の土坑が発見され、縄文土器片と石鏃が出土している。石器の製作址と推定される龍ヶ坪遺跡とも近接し、一連の遺跡であった可能性が指摘できる。

**弥生時代**　西区玉津田中遺跡（平野地区）では、弥生時代～中世の水田址が確認された。大規模な圃場整備に伴うトレンチ調査で、資料の制約はあるものの、居住域・水田域の立地の変遷が時代を追って理解できるようになりつつある。

また、西区印路遺跡でも弥生時代以降の水田面が3面確認されている。

西区二ツ屋東遺跡では、弥生時代前期の土坑が発見され、集落の開始期が前期まで遡ることが明らかとなった。

西区新方遺跡では、弥生時代中期と考えられる玉製品が多数発見され、玉造りの集落の存在を追認している。

西区出合遺跡では、中期中頃の方形周溝墓が6基発見された。主体部に木棺が良好に残ったものもあった。

滝ノ奥遺跡では、弥生時代中期後半の直径8mの大型の円形堅穴住居址が確認されている。

**古墳時代**　中央区日暮遺跡では、弥生時代末～古墳時代前期の堅穴住居址が3棟発見された。出土した弥生時代末の土器には、山陽地方の特色をもつ土器が含まれており、当時の人々の交流を物語る資料と言える。また、垂水・日向遺跡でも、弥生時代末～古墳時代前期の堅穴住居址が2棟発見され、遺跡の拡がりが確認されつつある。

灘区篠原南町遺跡では、先年度神戸女子大学遺跡調査会が発掘調査を実施した調査地と重複して調査を実施した結果、古墳時代前期の堅穴住居址が発見された。

長田区神楽遺跡では、古墳時代後期の堅穴住居址と掘立柱建物址が発見され、集落が移動しながら、古墳時代中期から後期にかけて営まれたことが判った。

また、東灘区郡家遺跡御影中町地区でも、後期中頃の堅穴住居址が発見された。

垂水区高塚山古墳群の第1次調査では、5基の後期古墳を調査したが、2号墳の横穴式石室の側壁に馬の線刻画が発見された。全国的にも例の少ないもので、当古墳群の被葬者を考えていく上で、興味深い。

北区北神ニュータウン内の調査では、第3地点古墳が横穴式石室をもつ6世紀中頃の前方後円墳、第2地点古墳が横穴式石室をもつ6世紀後半の円墳であることが判った。第3地点古墳では、石室の奥壁に「○」の線刻が刻まれていた点も注目される。両古墳は、当時、この地域に勢力を持っていた首長墓と考えられ、当時の地域社会を解明する上での貴重な資料である。

- 歴史時代
- 須磨区大田町遺跡では、整然と配置された奈良時代～平安時代の掘立柱建物址が発見され、遺跡の位置と遺構の配置などから「須磨駅家」の一部と推定される。
  - 北区龍ヶ坪遺跡では、9～10世紀の掘立柱建物址が発見されている。
  - 上津遺跡は、土地改良事業に伴う調査で、平安時代中葉から鎌倉時代初頭にかけての遺構・遺物が確認された。特に、屋敷墓と考えられる13世紀前半の木棺墓から白磁碗・須恵器碗と土師器小皿が出土している。
  - 北区行原遺跡では、13～14世紀の掘立柱建物址とともに、12世紀末～13世紀の火葬土坑が発見された。中世段階での村落形成を裏付ける資料と言えよう。
  - 北区宅原遺跡宮ノ元地区では、奈良時代に遡る可能性のある遺跡内で最大の規模を誇る掘立柱建物址が発見されている。
  - 灘区八幡遺跡では、鎌倉時代前半の掘立柱建物址群が発見されている。
  - 北区淡河・中村遺跡では、12世紀後半～13世紀前半の遺構が確認され、中国・朝鮮産の磁器や国産陶器が多数出土しており、遺跡の性格が注目される。

平成3年度 埋蔵文化財発掘調査一覧表 (1)

No	遺跡名	所在地	調査主体	調査担当者	調査面積	調査期間	調査内容等
1	神出・東遺跡	西区神出町東	神戸市教育委員会	菅本宏明	220m <sup>2</sup>	3.10. 1.~3.10. 25.	11~12世紀の掘立柱建物、溝、土坑
2	神出・東遺跡	西区神出町東	神戸市教育委員会	東喜代秀	170m <sup>2</sup>	4. 3. 6.~4. 3.17.	平安時代後半の溝
3	神出・吉生地区	西区神出町吉生	神戸市教育委員会	山口英正	64m <sup>2</sup>	3. 4. 8.	試掘調査、文化財なし
4	西神ニュータウン内 第36号地点遺跡	西区平野町堅田 字白節谷	御神戸市スポーツ 教育公社	前田佳久	130m <sup>2</sup>	3. 7. 30. ~3. 8. 7.	平安時代末~鎌倉時代の土坑
5	西神ニュータウン内 第55号地点遺跡-D	西区樫野台1丁目	御神戸市スポーツ 教育公社	安田道	5,000m <sup>2</sup>	3. 11. 22. ~次年度に継続	弥生時代中期の住居、土坑
6	木津遺跡	西区押部谷町木津	神戸市教育委員会	佐伯二郎 内藤俊哉	88m <sup>2</sup>	3. 11. 1. ~3. 11. 7.	試掘調査 文化財なし
7	和田遺跡	西区押部谷町和田	神戸市教育委員会	山口英正 東喜代秀	450m <sup>2</sup>	3. 4. 2.~3. 4. 7. 3. 5. 7.~3. 5. 20.	試掘調査、中世の遺物包含層 中世の溝、ピット
8	堅田遺跡	西区平野町堅田	神戸市教育委員会	佐伯二郎	350m <sup>2</sup>	3. 5. 21.~3. 6. 19.	遺構なし、古墳~中世の遺物
9	印路遺跡	西区平野町印路	神戸市教育委員会	黒田恭正 佐伯二郎	190m <sup>2</sup>	3. 4. 1.~3. 5. 2. 3. 9. 12.~3. 10. 21.	弥生時代、古墳時代以降、中世以降 の水田
10	玉津田中遺跡(平野 地区) 第5次	西区平野町福中 、芝輪はか	御神戸市スポーツ 教育公社	山口、池田 浅谷	2,600m <sup>2</sup>	3. 4. 9. ~3. 10. 30.	弥生中期前半の土坑、弥生~中世の 水田、後期~古墳前期の流路
11	居住遺跡	西区玉津町居住	神戸市教育委員会	東喜代秀	10m <sup>2</sup>	3. 9. 10.	中世・近世の水田
12	出合遺跡 第27次	西区玉津町中津	御神戸市スポーツ 教育公社	丹治・谷 嵩山	2,050m <sup>2</sup>	前年度より継続 ~3. 8. 2.	中世の水田 弥生時代初期の方型周溝墓
13	出合遺跡 第28次	西区玉津町出合 字中ノ田	神戸市教育委員会	佐伯二郎	127m <sup>2</sup>	3. 10. 9. ~3. 10. 31.	古墳時代の溝、土坑
14	二ツ屋遺跡	西区玉津町二ツ 屋	御神戸市スポーツ 教育公社	前田佳久	4,000m <sup>2</sup>	3. 1. 6. ~一次年度に継続	平安時代の集落址 弥生~平安時代の遺物包含層
15	二ツ屋東遺跡	西区玉津町二ツ 屋	御神戸市スポーツ 教育公社	丸山潔 井尻	848m <sup>2</sup>	3. 12. 6. ~4. 2. 7.	弥生時代前期の土坑、後期の溝、 平安時代中期の溝
16	櫛谷中学校内遺跡	西区櫛谷町池谷 字留代ノ内	御神戸市スポーツ 教育公社	斎木敷	150m <sup>2</sup>	4. 1. 13. ~4. 1. 23.	13~14世紀の遺物包含層
17	桜木遺跡 第7次	西区櫛谷町桜谷	御神戸市スポーツ 教育公社	安田、内藤 藤井	570m <sup>2</sup>	3. 5. 8.~3. 7. 19. 3. 11. 11.~3. 11. 19.	弥生時代中期の土坑、溝、ピット
18	桜木遺跡	西区櫛谷町桜木	神戸市教育委員会	山口英正	18m <sup>2</sup>	3. 7. 20.	試掘調査、弥生、中世の遺構面
19	松本遺跡	西区櫛谷町松本	神戸市教育委員会	川上厚志	108m <sup>2</sup>	4. 2. 4.~4. 2. 6.	試掘調査、江戸時代の土坑
20	松本遺跡	西区櫛谷町松本	神戸市教育委員会	川上厚志	40m <sup>2</sup>	4. 2. 7.	試掘調査、文化財なし
21	青谷遺跡	西区玉津町水谷 字セリ合はか	御神戸市スポーツ 教育公社	西園巧次 西岡誠司	78m <sup>2</sup>	3. 8. 22. ~3. 8. 29.	試掘調査 文化財なし
22	水谷遺跡	西区玉津町水谷	御神戸市スポーツ 教育公社	西園巧次 佐佐、井尻	1,264m <sup>2</sup>	3. 6. 25.~3. 8. 21. 3. 11. 11.~3. 11. 13.	平安~鎌倉時代の掘立柱建物群 試掘調査、弥生、土坑
23	高津橋・岡遺跡 第3次	西区玉津町高津 橋字岡	神戸市教育委員会	阿部敬生	47m <sup>2</sup>	3. 2. 3. ~3. 2. 20.	7~8世紀の遺構
24	白水遺跡	西区伊川谷町高 和	御神戸市スポーツ 教育公社	山本雅和	100m <sup>2</sup>	3. 11. 11. ~3. 11. 12.	試掘調査 奈良後期~平安前期の遺物包含層
25	潤和遺跡	西区伊川谷町潤 和字平田	神戸市教育委員会	口野博史	80m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 10.	弥生時代の遺物包含層、古墳時代の 土坑、中世の溝、ピット
26	新方遺跡大日地点 第2次	西区伊川谷町潤 和	神戸市教育委員会	東喜代秀	130m <sup>2</sup>	3. 10. 12. ~3. 12. 28.	弥生時代中期の溝、古墳時代後期の 掘立柱建物
27	持口台きつね塚古墳	垂水区持口台7 丁目	神戸市教育委員会	山本雅和	125m <sup>2</sup>	4. 2. 29. ~次年度に継続	古墳時代後期の両袖式横穴式石室、 家形石碑、金剛杵の馬具
28	高塚山古墳群 第1次	垂水区多間町字 小東山	神戸市教育委員会	橋詰、藤井 川上ほか	3,000m <sup>2</sup>	前年度より継続 ~3. 9. 4.	2~5号墳の調査(6世紀後半~末)、 馬の縁石壁面(2号墳)
29	垂水日向遺跡 第5次	垂水区日向1丁 目	御神戸市スポーツ 教育公社	斎木巖 内藤俊哉	240m <sup>2</sup>	3. 4. 1. ~3. 6. 27.	古墳4基の調査(横穴式石室) T字形複室構造、火葬場を含む
30	垂水日向遺跡 第6次	垂水区日向1丁 目	御神戸市スポーツ 教育公社	斎木巖	40m <sup>2</sup>	3. 5. 7. ~3. 5. 18.	文化財なし
31	垂水日向遺跡 第7次	垂水区日向1丁 目	御神戸市スポーツ 教育公社	丸山、安田 井尻、藤井	1,100m <sup>2</sup>	4. 2. 12. ~次年度に継続	平安時代後期~末の掘立柱建物群、 井戸
32	垂水日向遺跡天ノ下 地区 第2次	垂水区天ノ下町	御神戸市スポーツ 教育公社	前田佳久	650m <sup>2</sup>	3. 7. 10. ~3. 7. 30.	時期不明の溝

平成3年度 埋蔵文化財発掘調査一覧表 (2)

No.	遺跡名	所在地	調査主体	調査担当者	調査面積	調査期間	調査内容等
33	衣掛遺跡	須磨区衣掛町4丁目	神戸市教育委員会	東喜代秀	500m <sup>2</sup>	3. 6. 17. ~3. 7. 25.	中世の耕作痕 近世の溝
34	大田町遺跡	須磨区大田町6丁目	神戸市教育委員会	口野博史 川上厚志	425m <sup>2</sup>	3. 5. 20. ~3. 9. 12.	古墳時代後期の土坑、奈良～平安時代の推立柱建物
35	神楽遺跡 第7次	長田区神楽町1丁目	神戸市スポーツ教育公社	前田佳久 川上厚志	1,040m <sup>2</sup>	3. 9. 3. ~3. 12. 12.	弥生時代後期の流路 古墳～平安時代の集落
36	神楽遺跡 第8次	長田区西通3丁目	神戸市教育委員会	川上厚志	64m <sup>2</sup>	4. 3. 2. ~4. 3. 13.	13世紀の井戸、溝、ピット
37	長田社境内遺跡 第5次	長田区大塚町3丁目	神戸市スポーツ教育公社	西岡巧次 西岡誠司	506m <sup>2</sup>	3. 8. 30. ~4. 1. 17.	弥生後期～古墳初期・古墳中期の堅穴住居、 古墳～古墳中期の推立柱建物
38	五番町遺跡	長田区五番町5丁目	神戸市スポーツ教育公社	内藤俊哉	450m <sup>2</sup>	3. 12. 3. ~3. 3. 31.	縄文時代の流路、奈良時代の堅立柱建物、中世の推立柱建物
39	兵庫津遺跡	兵庫区西宮内町	神戸市教育委員会	東喜代秀	20m <sup>2</sup>	3. 10. 7. ~3. 10. 8.	遺構なし、中世の遺物
40	兵庫津遺跡(阿旁寺跡)	兵庫区中之島2丁目	神戸市教育委員会	東喜代秀	40m <sup>2</sup>	4. 3. 19. ~4. 3. 30.	近世の遺構・遺物
41	大開遺跡 第2次	兵庫区大開通9丁目	神戸市教育委員会	黒田恭正	650m <sup>2</sup>	3. 11. 8. ~3. 12. 27.	中世の耕作面
42	東川崎町遺跡	中央区東川崎町	神戸市教育委員会	黒田恭正	70m <sup>2</sup>	3. 10. 22. ~3. 11. 5.	近世の耕作面
43	旧三宮駅構内遺跡 第2次 V・VI区	中央区北長狭通4丁目	神戸市スポーツ教育公社	菅本宏明 富山道人	1,000m <sup>2</sup>	3. 7. 1. ~3. 7. 11. 3. 8. 15. ~3. 10. 7.	弥生～近世の土坑、溝、ピット 奈良時代の推立柱建物
				山口英正	1,050m <sup>2</sup>	3. 2. 4. ~次年度に継続	弥生～近世の土坑、溝、ピット 奈良時代の推立柱建物
44	下山手遺跡	中央区下山手通8丁目	神戸市教育委員会	池田毅	63m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 9.	中世の土坑、溝、ピット
45	雲井遺跡 第3次	中央区旭通5丁目	神戸市教育委員会	丹治康明	80m <sup>2</sup>	3. 4. 1. ~3. 4. 9.	縄文時代早期の土器
46	雲井遺跡 第4次	中央区旭通5丁目	神戸市スポーツ教育公社	安田进 藤井太郎	240m <sup>2</sup>	3. 7. 22. ~3. 11. 27.	縄文時代早期の土坑、集石土坑 弥生時代前期の土坑、溝
47	日暮遺跡 第4次	中央区東震通1丁目	神戸市教育委員会	山本雅和	350m <sup>2</sup>	3. 11. 20. ~4. 1. 27.	弥生時代末～古墳時代中期の堅穴住居、 土坑、平安時代のピット
48	八幡遺跡	灘区八幡町2丁目	神戸市教育委員会	東喜代秀	300m <sup>2</sup>	3. 7. 31. ~3. 9. 5.	中世の堅立柱建物
49	赤松町遺跡 第2次	灘区赤松町	神戸市教育委員会	須藤宏	570m <sup>2</sup>	3. 7. 11. ~3. 8. 12.	古墳前期の土坑、弥生～中世の土器
50	滝ノ奥遺跡	灘区高羽字滝ノ奥	神戸市教育委員会	黒田恭正 阿部敬生	3,000m <sup>2</sup>	前年度より継続 ~3. 9. 13.	旧石器、押野土器、撫糸文土器、 弥生時代中期後半の堅穴住居
51	猿原南町遺跡	灘区猿原南町6丁目	神戸市教育委員会	山本雅和	560m <sup>2</sup>	4. 1. 27. ~4. 2. 27.	古墳時代前期の堅穴住居 縄文時代後期の流路
52	鶴家遺跡 鶴家ノ坪地区 第2次	東灘区御影町御影子坪ノ坪地区	神戸市教育委員会	谷、東、 阿部	320m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 6. 7.	弥生時代後期の流路、古墳時代初期 の堅穴住居、前期のピット、溝
53	鶴家遺跡 鶴家ノ坪地区 第3次	東灘区御影町御影子坪ノ坪	神戸市教育委員会	谷正俊 前田佳久	84m <sup>2</sup>	3. 4. 27. ~3. 5. 2.	弥生時代後期の流路
54	鶴家遺跡 鶴家ノ坪地区 第4次	東灘区御影町御影子坪ノ坪	神戸市スポーツ教育公社	富山直人	60m <sup>2</sup>	3. 11. 5. ~3. 11. 15.	弥生時代後期の溝
55	鶴家遺跡 鶴家ノ坪地区 第5次	東灘区御影町御影子坪ノ坪	神戸市教育委員会	西岡誠司	210m <sup>2</sup>	3. 2. 4. ~次年度に継続	弥生時代後期の土坑、古墳時代中期 の堅穴住居、後期のピット、溝
56	鶴家遺跡 鶴家ノ坪地区 第6次	東灘区御影町御影子坪ノ坪	神戸市教育委員会	西岡巧次	120m <sup>2</sup>	4. 2. 4. ~次年度に継続	弥生時代後期の流路、古墳時代中期 ～後期の堅穴住居、中世のピット
57	鶴家遺跡 御影町地区第5次	東灘区御影町御影中町2丁目	神戸市教育委員会	佐伯二郎 川上厚志	256m <sup>2</sup>	3. 6. 28. ~3. 9. 27.	古墳時代後期の堅穴住居、流路、土坑、 奈良～平安時代の土坑、溝
58	本山遺跡 第13次	東灘区本山町4丁目	神戸市教育委員会	佐伯二郎	190m <sup>2</sup>	3. 11. 19. ~3. 12. 14.	中世の溝、土坑、ピット 近世の水田
59	青木遺跡	青葉区青木4丁目	神戸市スポーツ教育公社	丸山潔 井尻格	1,700m <sup>2</sup>	3. 11. 12. ~3. 11. 28.	中世の土坑 近世の水田
60	北神ニュータウン内第4地点遺跡	北区長尾町宅原字上難ケ谷	神戸市スポーツ教育公社	斎木義	1,030m <sup>2</sup>	3. 12. 2. ~次年度に継続	弥生時代中期の土坑
61	北神ニュータウン内第2・3地点古墳	北区道場町日下部字蟹床	神戸市スポーツ教育公社	菅木、安田 藤井	250m <sup>2</sup>	3. 4. 1. ~3. 5. 2. 4. 14. ~4. 23.	古墳時代後期前方後円墳と円墳、 横六式石室、「○」印模刻
62	日下部北遺跡	北区道場町日下部字蟹床	神戸市スポーツ教育公社	富山直人 斎木義	380m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 26. 3. 8. 6. ~3. 8. 9.	12世紀のピット(縦列)、土坑、溝

平成3年度 埼玉文化財発掘調査一覧表 (3)

No.	遺跡名	所在地	調査主体	調査担当者	調査面積	調査期間	調査内容等
63	松原城址	北区道場町下部	神戸市教育委員会	川上厚志	108m <sup>2</sup>	4. 2. 10. ~4. 2. 29.	試掘調査、土器、15~16世紀の遺物
64	西宮北ゴルフ場内 通路群	北区道場町塩田 平田、生野	神戸市教育委員会	阿部敬生	1,000m <sup>2</sup>	3. 12. 2. ~3. 12. 17.	試掘調査 発生?中世の基、落ち込み、溝
65	宅原遺跡宮ノ元地区	北区長尾町宅原 字宮ノ元	鶴神戸市スポーツ 教育公社	西岡巧次 井尻格	1,270m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 6. 24.	13~14世紀の掘立柱建物、火葬墓
66	宅原遺跡	北区長尾町宅原 字定塚	神戸市教育委員会	阿部敬生	365m <sup>2</sup>	3. 6. 10. ~3. 7. 31.	奈良~中世の溝、土坑、ピット 近代の井戸
67	宅原遺跡 (北神第2地区)	北区長尾町上津 字上塙内	鶴神戸市スポーツ 教育公社	斎木巖	430m <sup>2</sup> 250m <sup>2</sup>	3. 11. 5. ~3. 11. 28.	土坑 試掘調査 文化なし
68	宅原遺跡内垣地区	北区長尾町宅原 字内垣	鶴神戸市スポーツ 教育公社	前田佳久 浅谷誠司			遺物整理作業
69	天皇山古墳群	北区長尾町宅原 字炭焼	神戸市教育委員会	口野博史 須藤宏	330m <sup>2</sup>	4. 15. ~25. 5. 15. ~17. 8. 21. ~9. 12.	試掘調査、弥生時代後期・中世の土 器、近世の埋め墓
70		北区長尾町上津 八多町中	鶴神戸市スポーツ 教育公社	内藤俊哉	135m <sup>2</sup>	3. 11. 20. ~3. 11. 30.	試掘調査、文化なし
71	上津遺跡	北区長尾町上津	神戸市教育委員会	菅本宏明 浅谷誠司	810m <sup>2</sup>	3. 11. 5. ~4. 1. 16.	12世紀の掘立柱建物、ピット、溝 中世の木棺墓、溝、塹
72	上上津遺跡	北区長尾町上津	鶴神戸市スポーツ 教育公社	内藤俊哉	500m <sup>2</sup>	3. 6. 20. ~3. 7. 30.	中世の遺物包含層
73	龍ケ坪遺跡 第2次	北区長尾町上津 字龍ヶ坪	鶴神戸市スポーツ 教育公社	前田佳久	815m <sup>2</sup>	3. 6. 4. ~3. 7. 9. 8. 9. ~8. 29.	鎌倉時代の掘立柱建物 平安時代前半の施合遺物
74	上津遺跡	北区長尾町上津	鶴神戸市スポーツ 教育公社	丹治康明 斎木巖	5m <sup>2</sup> 175m <sup>2</sup>	3. 11. 14. ~3. 11. 15. 3. 10. 21. ~3. 11. 1.	試掘調査 文化なし 試掘調査、余根時代の土坑墓
75	上津遺跡	北区長尾町上津 字美谷里内	鶴神戸市スポーツ 教育公社	丹治、斎木 山上	4,640m <sup>2</sup>	3. 7. 1. ~3. 11. 20.	縄文時代中期末の土坑、13世紀の掘 立柱建物、土坑、溝、中世水田
76	屏風遺跡 第1次	北区八多町屏風	神戸市教育委員会	須藤、阿郎	308m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 12.	試掘調査、中・近世遺物包含層
	第2次			須藤宏	140m <sup>2</sup>	3. 5. 27. ~3. 7. 10.	江戸時代以降の土坑、溝
	第3次			池田毅	360m <sup>2</sup>	3. 10. 24. ~3. 11. 13.	試掘調査、中世・近世の遺構
	第4次			川上厚志	455m <sup>2</sup>	4. 3. 23. ~4. 3. 31.	江戸時代以降の溝
77	西畠渓谷遺跡	北区八多町西畠	神戸市教育委員会	西岡巧、須 藤、重	368m <sup>2</sup>	3. 4. 22. ~3. 4. 30. 4. 1. 13. ~4. 1. 22.	試掘調査 中のピット、遺物包含層
78	奥藏寺廢寺跡	北区八多町南物 字手運舎	神戸市教育委員会	西岡誠司	210m <sup>2</sup>	4. 1. 20. ~4. 1. 31.	試掘調査 文化なし
80	淡河地区	北区淡河町中山 萩原、淡河本町	神戸市教育委員会	池田毅	1,080m <sup>2</sup>	3. 4. 15. ~3. 5. 18. 3. 11. 14. ~3. 12. 26.	弥生時代後期の土器、古墳時代の遺 物包含層、中世の遺構・遺物包含層
81	淡河・中村遺跡	北区淡河町小池	神戸市教育委員会	丹治康明 阿部敬生	2,595m <sup>2</sup>	3. 8. 1. ~3. 10. 11.	中世の遺跡、溝、ピット、土坑
82	萩原遺跡	北区淡河町萩原	神戸市教育委員会	佐伯二郎	212m <sup>2</sup>	3. 5. 7. ~3. 5. 15.	試掘調査 中世の遺構・遺物包含層
83	行原遺跡 第2次	北区淡河町行原	神戸市教育委員会	須藤、池田 井岸	200m <sup>2</sup>	3. 4. 15. ~3. 5. 23.	13~14世紀の掘立柱建物、溝、ピッ ト、火葬土坑
	第4次			内藤俊哉	150m <sup>2</sup>	3. 8. 1. ~3. 8. 21.	火葬土坑
84	神田遺跡	北区淡河町神田	神戸市教育委員会	東喜代秀	160m <sup>2</sup>	3. 4. 8. ~3. 4. 19.	中世の溝、土坑、ピット
				淺谷誠吾	310m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 19.	試掘調査、中世の遺物包含層
85	淡河中山遺跡	北区淡河町中山	神戸市教育委員会	池田毅	110m <sup>2</sup>	4. 3. 24. ~4. 3. 30.	試掘調査、中世の遺構・遺物包含層
86	六甲国際ゴルフ場内 遺跡	北区山田町字衝 原	神戸市教育委員会	橋詰清孝	4,500m <sup>2</sup>	3. 8. 5. ~3. 12. 11.	縄文時代の石器、弥生土器、中世の 土器、時系列不明の植生土坑
87	印路遺跡	西区平野町印路	兵庫県教育委員会	久保弘幸 齋英記	355m <sup>2</sup>	3. 6. 10. ~3. 7. 12.	6世紀初めの古墳 (B-1号墳)
88	玉津町遺跡	西区玉津町中	兵庫県教育委員会	中川涉 藤野誠 多賀茂治 大庭繁 木曾繁 深江実恵	6,217m <sup>2</sup>	3. 5. 13. ~3. 10. 18.	弥生時代中期～中世の水田、 弥生時代後期～古墳時代前期の堅穴 住居、廬塚
89	吉田南遺跡	西区森友3丁目	兵庫県教育委員会	穠定厚介 西口圭士 長澤誠司	4,639m <sup>2</sup>	3. 4. 25. ~4. 3. 25.	弥生後期、古墳～奈良時代 の水田、8世紀の柱穴、 14世紀頃の施合
90	長板遺跡	西区伊川谷町長 坂	兵庫県教育委員会	吉田昇 岸本一宏	169m <sup>2</sup>	3. 8. 5. ~3. 8. 7.	確認調査、平安時代後期～鎌倉時代 の柱穴

平成3年度 埋蔵文化財発掘調査一覧表 (4)

No.	遺跡名	所在地	調査主体	調査担当者	調査面積	調査期間	調査内容等
91	大田町遺跡	須磨区大田町7丁目	兵庫県教育委員会	森内秀造 山上雅弘	423m <sup>2</sup>	3. 7, 23. ~3. 9, 24.	奈良～平安時代の掘立柱建物、井戸
92	神戸大学附属病院内遺跡	中央区御町7丁目	兵庫県教育委員会	山上雅弘	9 m <sup>2</sup>	3. 7, 11.	確認調査 遺構・遺物なし
93	北青木遺跡	東灘区深江本町4丁目	兵庫県教育委員会	中川池 鎌木敬二	12m <sup>2</sup>	3. 11. 28.	確認調査 遺構・遺物なし
94	押取池	北区淡河町野瀬	兵庫県教育委員会	森内秀造 山上雅弘	36m <sup>2</sup>	4. 1. 22. ~4. 1. 27.	確認調査 遺構・遺物なし
95	奥遺跡	北区淡河町淡河	兵庫県教育委員会	井守徳男 高瀬一喜 三原慎吾	2, 825m <sup>2</sup>	3. 12. 12. ~4. 2. 28.	溝、土坑 奈良～鎌倉時代の遺物
96	淡河・上中遺跡	北区淡河町行原	兵庫県教育委員会	村上泰樹 西原雄大	1, 747m <sup>2</sup>	3. 8. 4. ~3. 9. 10.	鎌倉時代前半の池、溝、土坑、柱穴
97	龍ヶ坪Ⅱ遺跡	北区長尾町上津	兵庫県教育委員会	水口富夫 山本誠	222m <sup>2</sup>	3. 9. 7. ~3. 9. 12.	奈良～平安時代の掘立柱建物、溝
98	西神ニュータウン内第65号地点遺跡-F	西区鷹野台1丁目	神戸女子大学遺跡調査会	藤井利章	5, 000m <sup>2</sup>	3. 10. 1. ~次年度に継続	弥生時代中期の堅穴住居、鍛錬炉型未製品、見廻説明会(3/29)
99	宋・木橋遺跡	西区押部谷町宋	妙見山麓遺跡調査会	神崎恵子	5, 000m <sup>2</sup>	3. 4. 26. ~4. 3. 5.	弥生後期の礎壇、堅穴住居、中世の掘立柱建物、土坑
100	玉津田中遺跡 平野地区	西区平野町中下村	玉津田中遺跡調査会	阿部嗣治	1, 510m <sup>2</sup>	3. 5. 1. ~3. 7. 20.	弥生中期の堅穴住居、溝、土坑、古墳～古代の溝、土坑、ピット
101	柄木遺跡	西区塙谷町柄木	神戸女子大学柄木遺跡調査会	藤井利章	520m <sup>2</sup>	3. 6. 25. ~3. 7. 25.	弥生時代後期の溝、土坑
102	舞子浜遺跡	垂水区東舞子町	高山正久	高山正久	600m <sup>2</sup>	3. 3. 30. ~次年度に継続	ピット 縄文土器、埴輪、中世の土器
103	垂水・日向遺跡 天ノ下地区	垂水区天ノ下町	妙見山麓遺跡調査会	神崎恵子	845m <sup>2</sup>	3. 10. 29. ~4. 1. 15.	古墳後期の堅穴住居、掘立柱建物、平安の掘立柱建物、流路
104	梅・荒田町遺跡 第10次	兵庫区西上塙通1丁目	神戸女子大学梅・荒田町遺跡調査会	藤井利章	180m <sup>2</sup>	3. 5. 13. ~3. 6. 14.	中世の井戸、土坑、ピット
105	磯上遺跡	中央区磯上通7丁目	吉川義彦	吉川義彦	2, 500m <sup>2</sup>	3. 7. 1. ~4. 1. 25.	縄文時代の土坑、弥生前期の溝 中世の掘立柱建物、土坑
106	日暮遺跡 第3次	中央区東雲通1丁目	日暮遺跡調査団	阿部嗣治	536m <sup>2</sup>	3. 7. 23. ~3. 9. 20.	古墳時代前葉の堅穴住居 平安～中世の遺物包含層
107	岩屋北町遺跡	灘区岩屋北町7丁目	六甲山麓遺跡調査会	古川久雄	488m <sup>2</sup>	3. 6. 1. ~3. 9. 30.	縄文～平安時代の流路 13世紀の墓
108	八幡遺跡	灘区八幡町1丁目	妙見山麓遺跡調査会	神崎勝	270m <sup>2</sup>	3. 5. 29. ~3. 6. 25.	中世の掘立柱建物、溝、土坑、ピット
109	郡家遺跡城の前地区	東灘区街影町城の前	妙見山麓遺跡調査会	神崎勝	565m <sup>2</sup>	前年度より継続	弥生後期の堅立柱建物、土坑、ピット ・発生後期～古墳前期の溝
110	本山北町遺跡	東灘区本山北町	六甲山麓遺跡調査会	古川久雄	286m <sup>2</sup>	4. 3. 16. ~次年度に継続	古墳時代の堅穴住居
111	小部・北ノ谷遺跡	北区山田町小部	高山正久	高山正久	3, 527m <sup>2</sup>	3. 4. 22. ~4. 1. 17.	中世の流路
112	下小名田遺跡	北区八多町下小名田	下小名田遺跡調査会	村尾政人	1, 150m <sup>2</sup>	3. 4. 25. ~3. 6. 15.	弥生後期の溝、古墳後葉の堅穴住居 奈良～鎌倉の掘立柱建物
	下小名田遺跡 IV区			村尾政人	900m <sup>2</sup>	3. 8. 19. ~3. 11. 18.	古墳前期の土坑、奈良～平安の溝、平安時代の掘立柱建物、井戸
	下小名田遺跡 V区			村尾政人	3, 070m <sup>2</sup>	3. 11. 20. ~4. 3. 31.	古墳～奈良の流路、土坑
113	下小名田遺跡	北区八多町下小名田	妙見山麓遺跡調査会	神崎勝	6, 000m <sup>2</sup>	3. 6. 25. ~3. 10. 24.	古墳後葉の堅穴住居、溝、掘立柱建物、平安～鎌倉の掘立柱建物
114	上津遺跡	北区長尾町上津	妙見山麓遺跡調査会	神崎勝	4, 827m <sup>2</sup>	3. 11. 1. ~次年度に継続	中世の掘立柱建物、土坑、溝、ピット
115	萩原遺跡	北区淡河町萩原	萩原遺跡調査団	村尾政人	1, 560m <sup>2</sup>	3. 6. 17. ~3. 8. 17.	平安～鎌倉の溝、ピット、杭列
116	淡河中山遺跡	北区淡河町中山	淡河中山遺跡調査会	阿部嗣治	1, 936m <sup>2</sup>	3. 11. 11. ~4. 2. 27.	平安～鎌倉の溝、土坑、集石遺構、ピット

平成3年度 埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表 (1)

No	事業名	遺跡名	所在地	調査主体	調査面積	調査期間	調査内容
文化庁補助							
1	個人住宅	神出・吉生地区	西区神出町吉生	神戸市教育委員会	64m <sup>2</sup>	3. 4. 8.	試掘調査、文化財なし
2	個人住宅	神出・東遺跡	西区神出町東	神戸市教育委員会	170m <sup>2</sup>	4. 3. 6.~4. 3. 17.	平安時代後半の溝
3	和田地区土地改良	和田遺跡	西区押部谷町和田	神戸市教育委員会	60m <sup>2</sup>	3. 5. 7.~3. 5. 20.	中世の遺物包含層
4	平野地区土地改良	玉津田中遺跡(平野地区) 第5次	西区平野町芝崎	神戸市教育委員会	950m <sup>2</sup>	3. 5. 20.~3. 10. 22.	纏文時代後期の土器、弥生~中世の水田、中世の柱穴
5	宅地造成(私道部分)	出合遺跡 第28次	西区玉津町出合字中ノ田	神戸市教育委員会	127m <sup>2</sup>	3. 10. 9.~3. 10. 31.	古墳時代の溝、土坑
6	古墳復元整備	狩口台きつね塚古墳	垂水区狩口台7丁目	神戸市教育委員会	125m <sup>2</sup>	4. 2. 29.~次年度に継続	古墳時代後期後葉の西式横穴式石室、石棺、金剛製の馬具
7	本堂建設	兵庫県遺跡(阿弥陀寺等)	兵庫区中島2丁目	神戸市教育委員会	40m <sup>2</sup>	4. 3. 19.~4. 3. 30.	近世の遺構・遺物
8	個人住宅含む共同住宅建設	赤松町遺跡 第2次	灘区赤松町	神戸市教育委員会	570m <sup>2</sup>	3. 7. 11.~3. 8. 12.	古墳時代前期の土坑発生~中世の土器
9	個人住宅建設	郡家遺跡(新ノ坪地区) 第3次	東灘区御影町御影字新ノ坪	神戸市教育委員会	84m <sup>2</sup>	3. 4. 27.~3. 5. 2.	弥生時代後葉の流路
10	事務所・個人住宅建設	郡家遺跡(新ノ坪地区) 第6次	東灘区御影町御影字新ノ坪	神戸市教育委員会	120m <sup>2</sup>	4. 3. 2.~次年度に継続	弥生時代後葉の流路、古墳時代中期~後葉の縄穴住居、中世のビット
11	共同住宅兼個別住宅建設	郡家遺跡(御影中町地区) 第5次	東灘区御影町御影中町2丁目	神戸市教育委員会	256m <sup>2</sup>	3. 6. 28.~3. 9. 27.	古墳時代後葉の堅穴住居、溝、土坑、古墳時代~平安時代の土坑、溝
12	上津地区土地改良	上津遺跡	北区長尾町上津	神戸市教育委員会	810m <sup>2</sup>	3. 11. 5.~4. 11. 30.	12~14世紀の土坑、ビット、溝
13 屏風浦地区土地改良	屏風浦遺跡	北区八多町屏風	神戸市教育委員会	140m <sup>2</sup>	3. 5. 27.~3. 7. 10.	江戸時代以降の土坑、溝	
		第3次			360m <sup>2</sup>	3. 10. 24.~3. 11. 13.	試掘、中・近世の遺構・遺物包含層
		第4次			97m <sup>2</sup>	4. 3. 17.~4. 3. 20.	江戸時代以降の溝
14	西畠深谷地区土地改良	西畠遺跡	北区八多町西畠	神戸市教育委員会	92m <sup>2</sup>	3. 4. 22.~3. 4. 25. 4. 1. 13.~4. 1. 22.	試掘調査 文化財なし
15	淡河地区土地改良	淡河地区	北区淡河町中山 萩原、淡河木町	神戸市教育委員会	1,080m <sup>2</sup>	3. 4. 15.~3. 5. 18. 3. 11. 14.~3. 12. 26.	弥生後葉の土器、古墳時代の遺物包含層、中世の遺構・遺物包含層
16	中村地区土地改良	淡河・中村遺跡	北区淡河町小池	神戸市教育委員会	1,180m <sup>2</sup>	3. 8. 1.~3. 8. 31.	中世の掘列、溝、ビット、土坑
17	萩原地区土地改良	萩原遺跡	北区淡河町萩原	神戸市教育委員会	76m <sup>2</sup>	3. 5. 7.~3. 5. 9.	試掘調査 中世の遺構・遺物包含層
18 行原地区土地改良	行原遺跡 第2次	北区淡河町行原	神戸市教育委員会	200m <sup>2</sup>	3. 4. 15.~3. 5. 23.	13~14世紀の獨立柱建物、溝、ビット、火葬土坑	
		第4次			150m <sup>2</sup>	3. 8. 1.~3. 8. 21.	火葬土坑
19	神田地区土地改良	神田遺跡	北区淡河町神田	神戸市教育委員会	160m <sup>2</sup>	3. 4. 8.~3. 4. 19.	中世の溝、土坑、ビット
民生局							
20	植谷児童館建設	植谷中学校内遺跡	西区植谷町池谷 字屋代ノ内	朝神戸市スポーツ教育公社	150m <sup>2</sup>	4. 1. 13.~4. 1. 23.	13~14世紀の遺物包含層
21	玉津福祉ゾーン建設	青谷遺跡	西区玉津町水谷 字セリ合はか	朝神戸市スポーツ教育公社	76m <sup>2</sup>	3. 8. 22.~3. 8. 29.	試掘調査 文化財なし
農政局							
22	和田地区土地改良	和田遺跡	西区押部谷町和田	神戸市教育委員会	150m <sup>2</sup> 240m <sup>2</sup>	3. 4. 2.~3. 4. 7. 3. 5. 7.~3. 5. 20.	試掘調査、中世の遺物包含層 中世の土坑、ビット
23	平野地区土地改良	玉津田中遺跡(平野地区) 第5次	西区平野町福中 ・芝崎	朝神戸市スポーツ教育公社	1,650m <sup>2</sup>	3. 4. 8.~3. 10. 30.	弥生中期前半の土坑、後葉以前の水田、後葉~古墳前葉の流路

平成3年度 埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表 (2)

No	事業名	遺跡名	所在地	調査主体	調査面積	調査期間	調査内容
24	柄木地区土地改良	柄木遺跡	西区植谷町柄木	神戸市教育委員会	16m <sup>2</sup>	3. 7. 20.	試掘調査 弥生、中世の遺構面
25	松本地区土地改良	松本遺跡	西区植谷町松本	神戸市教育委員会	108m <sup>2</sup>	4. ~2, 4, ~4, 2, 6,	試掘調査 江戸時代の土坑
26	上津地区土地改良	上津遺跡	北区長尾町上津	神戸市教育委員会	1,400m <sup>2</sup>	3. 11. 5, ~4, 1, 16.	12世紀の擬立柱建物 中世の木棺墓、溝、櫛
27	屏風地区土地改良	屏風遺跡 第1次 第4次	北区八多町屏風	神戸市教育委員会	308m <sup>2</sup> 358m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 12. 3. 23. ~4. 3. 31.	試掘調査、中・近世の遺物包含層 近世以降の溝
28	西畠渓谷地区土地改良	西畠渓谷遺跡	北区八多町西畠渓谷	神戸市教育委員会	276m <sup>2</sup>	3. 4. 22. ~3. 4. 30.	試掘調査 中世の遺物包含層、ピット
29	中村地区土地改良	淡河・中村遺跡	北区淡河町小池	神戸市教育委員会	1,410m <sup>2</sup>	3. 8. 12. ~3. 10. 11.	中世の土坑、ピット
30	淡河地区土地改良	淡河中山遺跡	北区淡河町中山	神戸市教育委員会	110m <sup>2</sup>	4. 3. 24. ~4. 3. 30.	試掘調査 中世の遺構・遺物包含層
31	淡河地区土地改良	萩原遺跡	北区淡河町萩原	神戸市教育委員会	136m <sup>2</sup>	3. 5. 10. ~3. 5. 15.	試掘調査 中世の遺構・遺物包含層
32	行原地区土地改良	行原遺跡 第2次 第4次	北区淡河町行原	神戸市教育委員会	(200m <sup>2</sup> ) (150m <sup>2</sup> )	3. 4. 15. ~3. 5. 23. 3. 8. 1. ~3. 8. 21.	13~14世紀の擬立柱建物、溝、ピット、火葬土坑 火葬土坑
33	神田地区土地改良	神田遺跡	北区淡河町神田	神戸市教育委員会	310m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 19.	試掘調査 中世の遺物包含層
木局							
34	西神22号線自歩道設置	堅田遺跡	西区平野町堅田字栗町	神戸市教育委員会	350m <sup>2</sup>	3. 5. 21. ~3. 6. 19.	遺構なし 古墳・中世の遺物
35	保野野村明石線改良	印路遺跡	西区平野町中津	神戸市教育委員会	190m <sup>2</sup>	3. 4. 1. ~3. 5. 2. 3. 9. 12. ~3. 10. 21.	弥生時代・古墳時代以降、中世以降の水田
36	明石園包線建設	出合遺跡 第27次	西区玉津町中津	朝神戸市スポーツ教育公社	2,050m <sup>2</sup>	前年度より継続 3. 8. 2.	中世の水田 弥生時代中期の方形周溝墓
37	小部明石線道路改良	松本遺跡	西区植谷町松本	神戸市教育委員会	40m <sup>2</sup>	4. 2. 7.	試掘調査 文化財なし
38	小部明石線道路改良	二ツ屋東遺跡	西区玉津町二ツ屋	朝神戸市スポーツ教育公社	848m <sup>2</sup>	3. 12. 6. ~4. 2. 7.	弥生時代前期の土坑、後期の溝、平安時代中期の溝
39	三木三田線自歩道設置	白下部北遺跡	北区道場町日下部字蘆原	朝神戸市スポーツ教育公社	380m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 4. 26. 3. 8. 6. ~3. 8. 9.	12世紀のピット（棚列）、土坑、溝
40	北神戸3地区建設	北神ニュータウン内第4地点遺跡	北区長尾町毛原字上麻ヶ谷	朝神戸市スポーツ教育公社	1,030m <sup>2</sup>	3. 12. 2. ~次年度に継続	弥生時代中期の土坑
41	北神第一地区緑地整備	北神ニュータウン内第2・3地点古墳	北区道場町日下部	朝神戸市スポーツ教育公社	250m <sup>2</sup>	3. 4. 1. ~3. 5. 2. 4. 1. 14. ~4. 3. 23.	古墳時代後期前方後円墳と円墳、横六石室、「○」日暦記
42	北神戸一・三地区開発	北区長尾町上津	北区長尾町上津八多町中	朝神戸市スポーツ教育公社	135m <sup>2</sup>	3. 11. 20. ~3. 11. 30.	試掘調査、文化財なし
43	北神戸3地区建設	宅原遺跡(北神第2地区)	北区長尾町上津字上原内	朝神戸市スポーツ教育公社	430m <sup>2</sup> 250m <sup>2</sup>	3. 11. 5. ~3. 11. 28.	土坑 試掘調査 文化財なし
44	北神中央線建設	宅原遺跡内坦地区	北区長尾町毛原	朝神戸市スポーツ教育公社			遺物整理作業
45	市道長尾線道路改良	宅原遺跡宮ノ元地区	北区長尾町毛原	朝神戸市スポーツ教育公社	1,270m <sup>2</sup>	3. 4. 2. ~3. 6. 24.	13~14世紀の擬立柱建物、火葬墓
46	北18号線自歩道改良	上上津遺跡	北区長尾町上津	朝神戸市スポーツ教育公社	500m <sup>2</sup>	3. 6. 20. ~3. 7. 30.	中世の遺物包含層
47	市道長尾線道路改良	龍ヶ坪遺跡 第2次	北区長尾町上津字龍ヶ坪	朝神戸市スポーツ教育公社	815m <sup>2</sup>	3. 6. 4. ~3. 7. 9. 3. 8. 9. ~3. 8. 29.	鎌倉時代の擬立柱建物 平安時代前半の擬立柱建物
48	市道長尾線道路改良	上津遺跡	北区長尾町上津	朝神戸市スポーツ教育公社	5m <sup>2</sup> 175m <sup>2</sup>	3. 11. 14. ~3. 11. 15. 3. 10. 21. ~3. 11. 1.	試掘調査 文化財なし 試掘調査 泰良時代の土坑墓

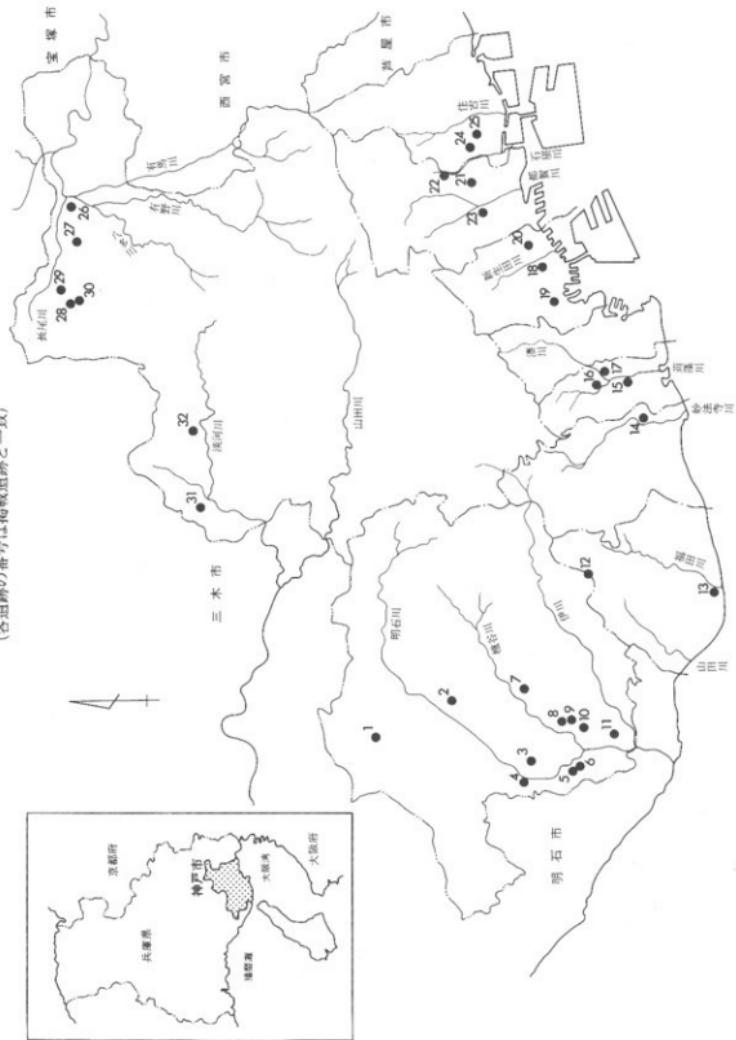
平成3年度 埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表 (3)

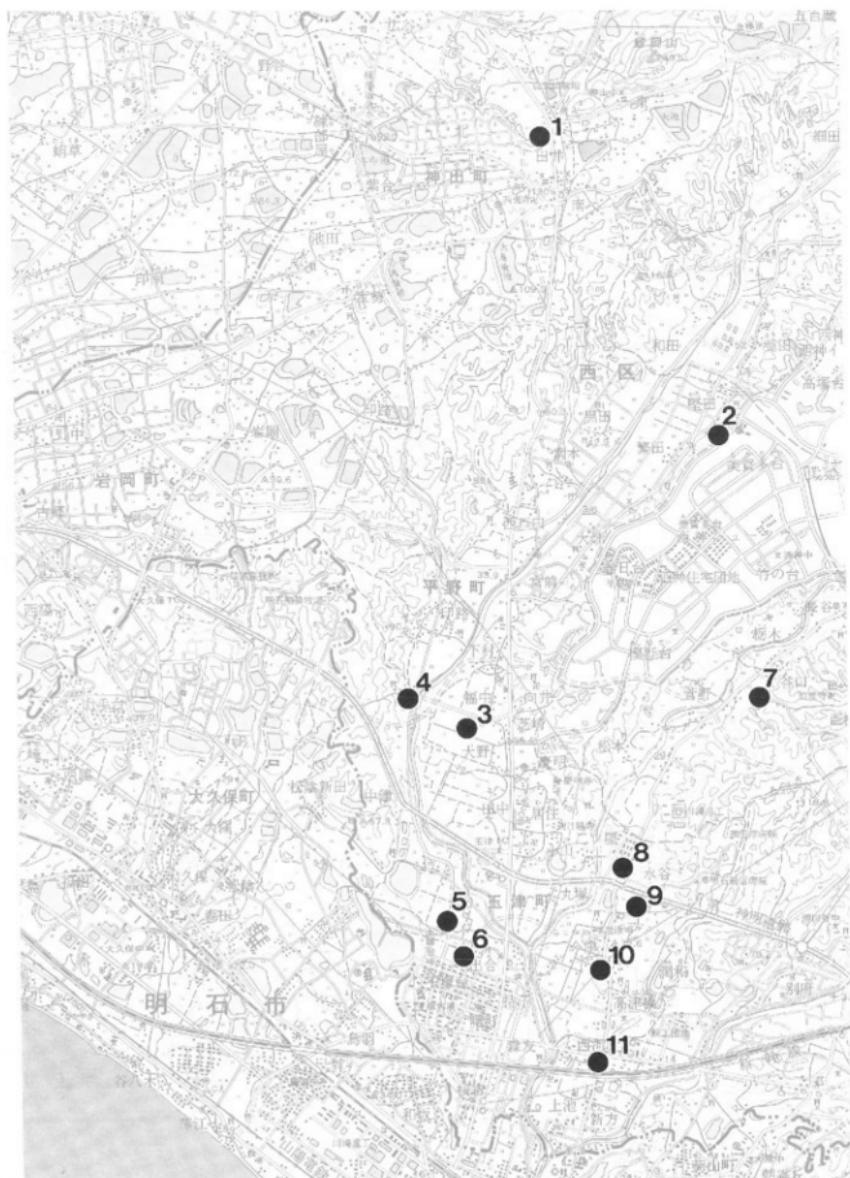
No.	事業名	遺跡名	所在地	調査主体	調査面積	調査期間	調査内容
49	山田三線道路改良	上津遺跡	北区長尾町上津字美垣垣内	御神戸市スポーツ教育公社	4,640m <sup>2</sup>	3. 7. 1. ~3. 11. 20.	縄文時代中期末の土坑、13世紀の掘立柱建物、土坑、溝、中世水田
都市計画局							
50	区画整理	ニツ屋遺跡	西区玉津町二ツ屋	御神戸市スポーツ教育公社	4,000m <sup>2</sup>	4. 1. 6. ~次年度に継続	平安時代の集落址 弥生~平安時代の遺物包含層
51	水谷第一土地区画整理	水谷遺跡	西区玉津町水谷	御神戸市スポーツ教育公社	1,284m <sup>2</sup> 64m <sup>2</sup>	3. 6. 25. ~3. 8. 21. 3. 11. 11. ~3. 11. 13.	平安~鎌倉時代の掘立柱建物群 試掘調査、弥生土器
52	土地区画整理	白水遺跡	西区伊川谷町萬和	御神戸市スポーツ教育公社	100m <sup>2</sup>	3. 11. 11. ~3. 11. 12.	試掘調査 奈良後期~平安前期の遺物包含層
53	明石木見緑地橋	新方遺跡大日地點第2次	西区伊川谷町萬和	神戸市教育委員会	130m <sup>2</sup>	3. 10. 12. ~3. 12. 28.	御神代中期の溝、古墳時代後期の 掘立柱建物
54	垂水駅前再開発	垂水日向遺跡第5次	垂水区日向1丁目	御神戸市スポーツ教育公社	240m <sup>2</sup>	3. 4. 1. ~3. 6. 27.	縄文後期の道路、飛鳥時代の愛穴住居、 平安~鎌倉時代の掘立柱建物群
55	垂水駅前再開発	垂水日向遺跡第6次	垂水区日向1丁目	御神戸市スポーツ教育公社	40m <sup>2</sup>	3. 5. 7. ~3. 5. 18.	文化財なし
56	垂水駅前再開発	垂水日向遺跡第7次	垂水区日向1丁目	御神戸市スポーツ教育公社	1,100m <sup>2</sup>	4. 2. 12. ~次年度に継続	平安時代後期~末の掘立柱建物群、 井戸
57	南大林駅前	垂水日向遺跡天ノ下地区第2次	垂水区天ノ下町	御神戸市スポーツ教育公社	650m <sup>2</sup>	3. 7. 10. ~3. 7. 30.	時期不明の溝
58	御堂山道路長田駅跡街路築造	長田区神社境内遺跡第5次	長田区大塚町3丁目	御神戸市スポーツ教育公社	506m <sup>2</sup>	3. 8. 30. ~4. 1. 17.	弥生後期~古墳初頭・古墳朝前の壁穴住居、古墳中期の掘立柱建物。
59	三宮東地区都市改造	震井遺跡第3次	中央区旭通5丁目	神戸市教育委員会	80m <sup>2</sup>	3. 4. 1. ~3. 4. 9.	縄文時代早期の土器
60	三宮東地区都市改造	震井遺跡第4次	中央区旭通5丁目	御神戸市スポーツ教育公社	240m <sup>2</sup>	3. 7. 22. ~3. 11. 27.	縄文時代早期の土坑、奥石土坑 弥生時代前期の土坑、溝
61	東灘山手土地区画整理	郡家遺跡篠ノ坪地区第4次	東灘区御影町御影字篠ノ坪	御神戸市スポーツ教育公社	60m <sup>2</sup>	3. 11. 5. ~3. 11. 15.	弥生時代後期の溝
住宅局							
62	番町(住宅地区)改修	五番町遺跡	長田区六番町5丁目	御神戸市スポーツ教育公社	450m <sup>2</sup>	3. 12. 3. ~3. 3. 31.	縄文時代の流路、奈良時代の掘立柱 建物、中世の掘立柱建物
63	市営青木住宅建設	青木遺跡	東灘区青木4丁目	御神戸市スポーツ教育公社	1,700m <sup>2</sup>	3. 11. 12. ~3. 11. 28.	中世の土坑 近世の水田
開発局							
64	神戸三木バイパス渦津	木津遺跡	西区押部谷町木津	神戸市教育委員会	88m <sup>2</sup>	3. 11. 1. ~3. 11. 7.	試掘調査 文化財なし
65	西神地区開発自歩道設置	西神ニュータウン内第36号地点遺跡	西区平野町堅田字白谷筋	御神戸市スポーツ教育公社	130m <sup>2</sup>	3. 7. 30. ~3. 8. 7.	平安時代末~鎌倉時代の土坑
66	西神地区開発	西神ニュータウン内第53号地点遺跡-D	西区鷹野台1丁目	御神戸市スポーツ教育公社	5,000m <sup>2</sup>	3. 11. 22. ~次年度に継続	弥生時代中期の住居、土坑
67	西神地区開発	柄木遺跡第7次	西区櫛谷町谷口	御神戸市スポーツ教育公社	570m <sup>2</sup>	3. 5. 8. ~3. 7. 18. 3. 11. 11. ~3. 11. 19.	弥生時代中期の土坑、溝、ピット
教育委員会							
68	小学校改築	神楽遺跡第7次	長田区神楽町1丁目	御神戸市スポーツ教育公社	1,040m <sup>2</sup>	3. 9. 3. ~3. 12. 12.	弥生時代後期の流路 古墳~平安時代の集落
69	神戸牛田中学校改築	旧三宮駅構内遺跡第2次 V・VII区	中央区北風呂通4丁目	御神戸市スポーツ教育公社	1,000m <sup>2</sup>	3. 7. 1. ~3. 7. 11. 3. 8. 15. ~3. 10. 7.	弥生~近世の土坑、溝、ピット 奈良時代の掘立柱建物
		第2次 VII区			1,050m <sup>2</sup>	3. 2. 4. ~次年度に継続	弥生~近世の土坑、溝、ピット 奈良時代の掘立柱建物
民間							
70	レストラン建設	神出・東遺跡	西区神出町東	神戸市教育委員会	220m <sup>2</sup>	3. 10. 1. ~3. 10. 25.	11~12世紀の掘立柱建物、溝、土坑

平成3年度 埋蔵文化財発掘調査事業別一覧表 (4)

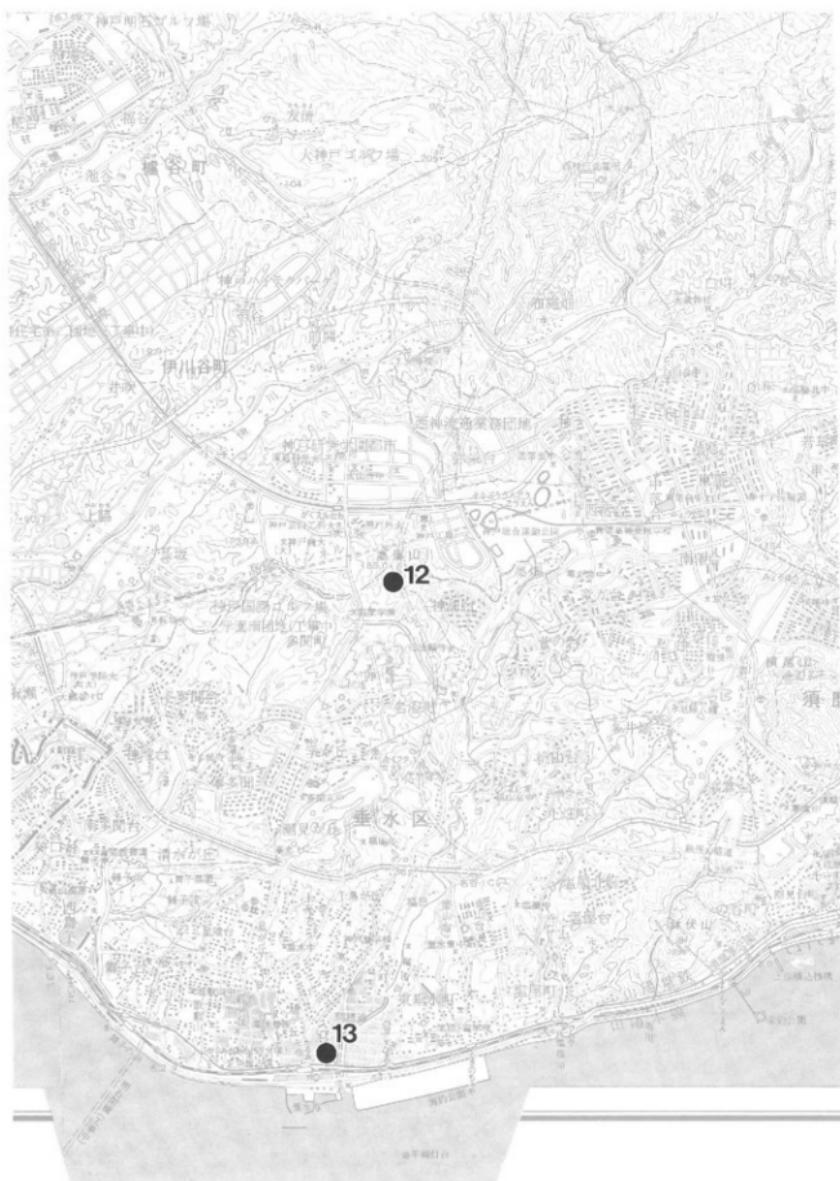
No.	事業名	遺跡名	所在地	調査主体	調査面積	調査期間	調査内容
71	駐車場増設	居住遺跡	西区玉津町居住	神戸市教育委員会	10m <sup>2</sup>	3. 9, 10.	中世・近世の水田
72	共同住宅・会 社事務所	高津橋・同遺跡 第3次	西区玉津町高津 橋字岡	神戸市教育委員会	47m <sup>2</sup>	3. 2, 3, ~3, 2, 20.	7~8世紀の遺構
73	店舗建設	園和遺跡	西区衣川町潤 和字平田	神戸市教育委員会	80m <sup>2</sup>	3. 4, 2, ~3, 4, 10.	弥生時代の遺物包含層、古墳時代の 土坑、中世の溝、ピット
74	資材置場造成	高塚山古墳群 第1次	垂水区多聞町字 小東山	神戸市教育委員会	3,000m <sup>2</sup>	前年度より継続 ~3, 9, 4.	2~6号墳の調査(6世紀後半~末、 馬の縄刻壁画 (2号墳)
75	資材置場造成	高塚山古墳群 第2次	垂水区多聞町字 小東山	神戸市教育委員会	2,500m <sup>2</sup>	3. 12, 3, ~次年度に継続	古墳(基の調査(猪大式石室) 丁字形複室構造、火葬場を含む)
76	共同住宅建設	衣掛遺跡	須磨区衣掛町4 丁目	神戸市教育委員会	500m <sup>2</sup>	3. 6, 17, ~3, 7, 25.	中世の耕作痕 近世の溝
77	共同住宅建設	大田町遺跡	須磨区大田町6 丁目	神戸市教育委員会	425m <sup>2</sup>	3. 5, 20, ~3, 9, 12.	古墳時代後期の土坑、奈良~平安 時代の掘立柱建物
78	テナントビル 、駐車場建設	神楽遺跡 第8次	長田区川西通3 丁目	神戸市教育委員会	64m <sup>2</sup>	4. 3, 2, ~4, 3, 13.	13世紀の井戸、溝、ピット
79	給油所建設	兵庫塚遺跡	兵庫区西宮内町	神戸市教育委員会	20m <sup>2</sup>	3. 10, 7. ~3. 10, 8.	遺構なし、中世の遺物
80	病院建設	大開遺跡 第2次	兵庫区大開通9 丁目	神戸市教育委員会	650m <sup>2</sup>	3. 11, 8, ~3, 12, 27.	中世の耕作面
81	立体駐車場建 設	東川崎町遺跡	中央区東川崎町	神戸市教育委員会	70m <sup>2</sup>	3. 10, 22, ~3, 11, 5.	近世の耕作面
82	立体駐車場建 設	下山手遺跡	中央区下山手通 8丁目	神戸市教育委員会	63m <sup>2</sup>	3. 4, 2, ~3, 4, 9.	中世の土坑、溝、ピット
83	共同住宅建設	日暮遺跡 第4次	中央区東茶道1 丁目	神戸市教育委員会	350m <sup>2</sup>	3. 11, 20, ~4, 1, 27.	弥生時代末~古墳時代中期の整穴住 居、土坑、平安時代のピット
84	共同住宅建設	八幡遺跡	灘区八幡町2丁 目	神戸市教育委員会	300m <sup>2</sup>	3. 7, 31, ~3, 9, 5.	中世の掘立柱建物
85	共同住宅建設	庵ノ奥遺跡	灘区高羽字庵ノ 奥	神戸市教育委員会	3,000m <sup>2</sup>	前年度より継続 ~3, 9, 13.	旧石器、押型土器、横糸文土器、 平安時代中期後半の整穴住居
86	共同住宅建設	鎌原南町遺跡	灘区鎌原南町6 丁目	神戸市教育委員会	560m <sup>2</sup>	4. 1, 27, ~4, 2, 27.	古墳時代前期の整穴住居 鐵文時代後期以降の流路
87	マンション建 設	駒家遺跡 篠ノ坪地区 第2次	東灘区御影町御 影字篠ノ坪	神戸市教育委員会	320m <sup>2</sup>	3. 4, 2, ~3, 6, 7.	弥生時代後期の流路、古墳時代初期 の整穴住居、前期のピット、溝
88	共同住宅建設	駒家遺跡 篠ノ坪地区 第5次	東灘区御影町御 影字篠ノ坪	神戸市教育委員会	210m <sup>2</sup>	3. 2, 4, ~次年度に継続	弥生時代後期の土坑、古墳時代中期 の整穴住居、後房の流路
89	共同住宅建設	本山遺跡 第13次	東灘区本山町4 丁目	神戸市教育委員会	190m <sup>2</sup>	3. 11, 19, ~3, 12, 14.	中世の溝、土坑、ピット 近世のピット
90	ゴルフ場造成	六甲国際ゴルフ場内 遺跡	北区山田町字衝 原	神戸市教育委員会	4,500m <sup>2</sup>	3. 9, 5, ~3, 12, 11.	繩文時代の石器、教生土器、中世の 土器、時期不明の袋土坑
91	ゴルフ場建設	西宮北ゴルフ場内 遺跡群	北区須坂町塙田 平田、生野	神戸市教育委員会	1,000m <sup>2</sup>	3. 12, 2, ~3, 12, 17.	試掘調査 発生?中世の墓、落ち込み、溝
92	宅地造成予定	松原城址	北区須坂町野下 部	神戸市教育委員会	106m <sup>2</sup>	4. 2, 10, ~4, 2, 29.	試掘調査 土壌確認、15~16世紀の遺物
93	給油所建設	宅原遺跡	北区長尾町宅原 字宅原	神戸市教育委員会	365m <sup>2</sup>	3. 6, 19, ~3, 7, 31.	奈良~中世の溝、土坑、ピット 近代の井戸
94	資材置場建設	天童山古墳群	北区八多町附物 字手運谷	神戸市教育委員会	330m <sup>2</sup>	4. 15, ~25, 5. 15~ 17, 8. 21, ~8. 12.	試掘調査、弥生時代後期・中世の土 器、近世の埴燒
95	裏六甲カント リークラブ	奥藏寺南寺遺跡	北区八多町附物 字手運谷	神戸市教育委員会	210m <sup>2</sup>	4. 1, 20, ~4, 1, 31.	試掘調査 文化財なし

平成3年度 神戸市埋蔵文化財調査地位置図  
(各道跡の番号は掲載道跡と一致)





調査地点位置図 1



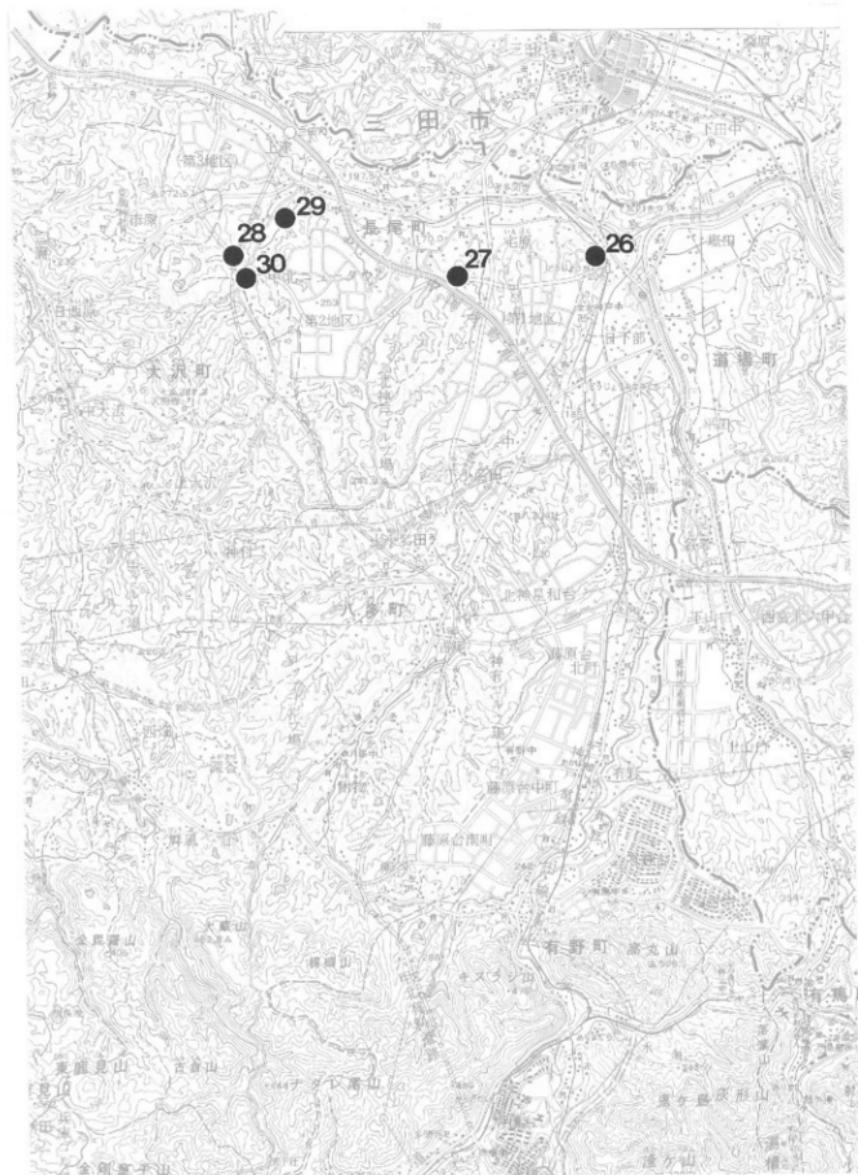
調査地点位置図 2



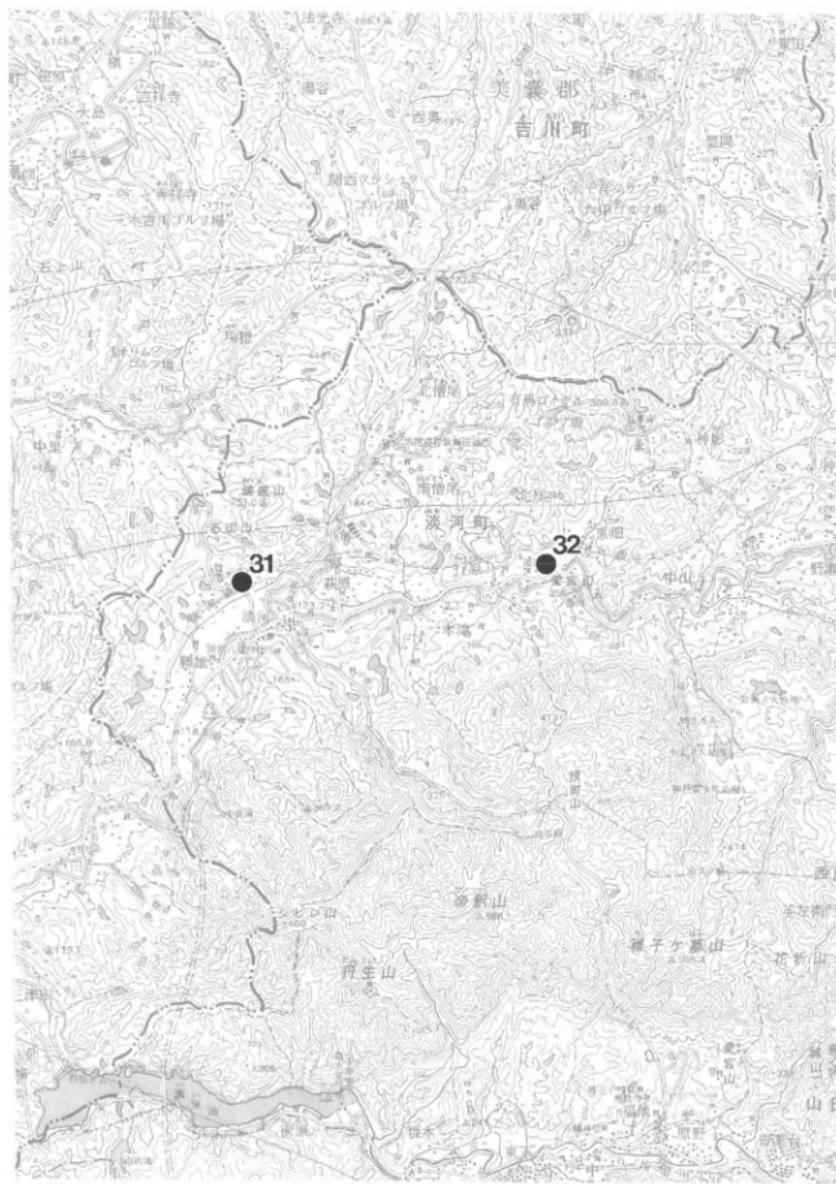
調査地点位置図 3



調査地点位置図 4



調査地点位置図 5



### 調査地点位置図 6

## II. 平成3年度の発掘調査

### 1. 神出・東遺跡

#### 1.はじめに

神出町一帯は、神出古窯址群として知られる平安時代後半から鎌倉時代にかけての須恵器生産地である。当該地周辺においても、これまでの調査で窯址・粘土採掘坑や生産に関係すると考えられる建物址が発見されている。

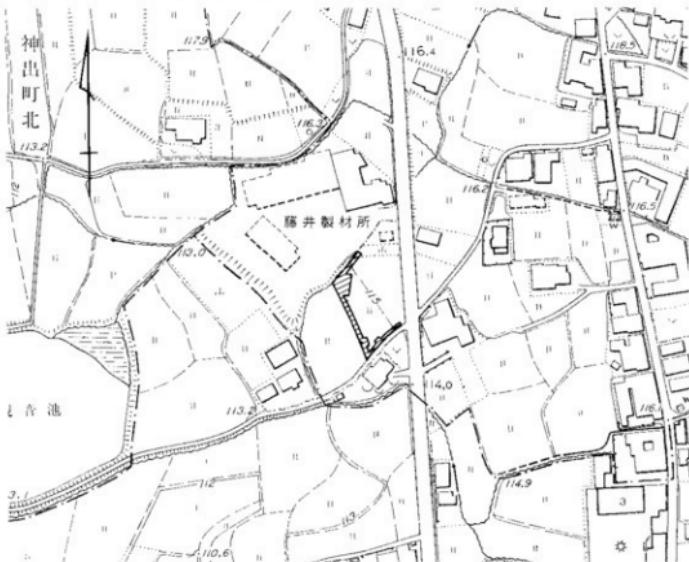


fig. 3  
調査地点の位置  
1:2500

#### 2. 調査の概要

今回の調査は店舗建築に伴い、建築予定地内の遺跡に影響する擁壁および浄化槽部分に関して行った。調査の結果、調査地全面に遺物包含層が存在し、溝、土坑、ピットなどが検出された。

##### 溝

溝は2条が平行するように検出され、S D01は幅0.9~1.3m、深さ約10cm、S D02は幅30~50cm、深さ約8cmで、いずれも浅いものである。

##### 土坑

S X01は、2基の土坑が連続したものとみられるが、埋土上層での切り合はないが、前後関係は不明である。幅1.3~2.2m、長さ6m以上、深さは20cmである。粘土採掘坑の可能性もあるが明らかでない。

S X02は不整形の落ち込みで、東側へ深く落ち、深さ10cm以上である。

##### ピット

柱穴と考えられるピットは、調査地の南半部で検出された。調査範囲の制約から、掘立柱建物の規模は確認できなかったが、S B01は4間以上であり、他に数棟が存在するものと考えられる。P-12からは須恵器壺の底部が出土した。

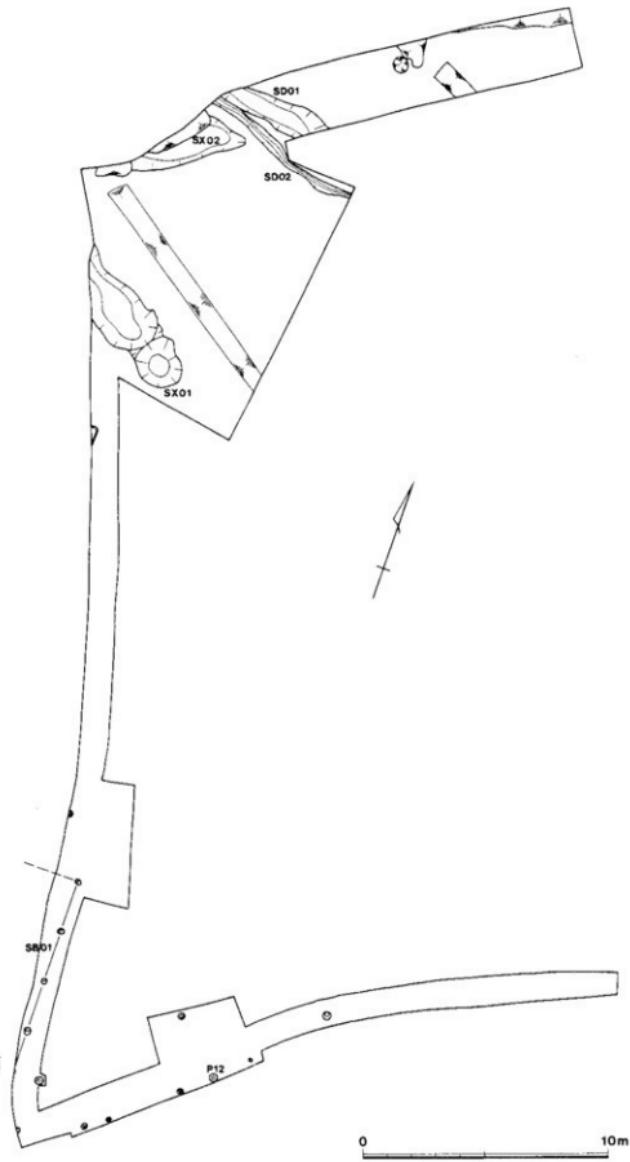


fig. 4  
調査地区平面  
図



fig. 5 調査地区全景（南から）



fig. 6 SX01・02, SD01・02  
(東から)



fig. 7 SB01柱穴列（北から）

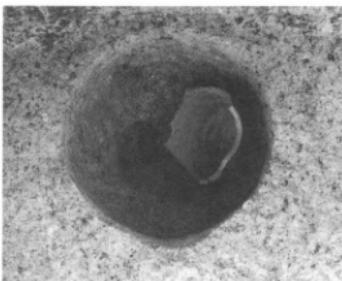


fig. 8 P 12遺物出土状況

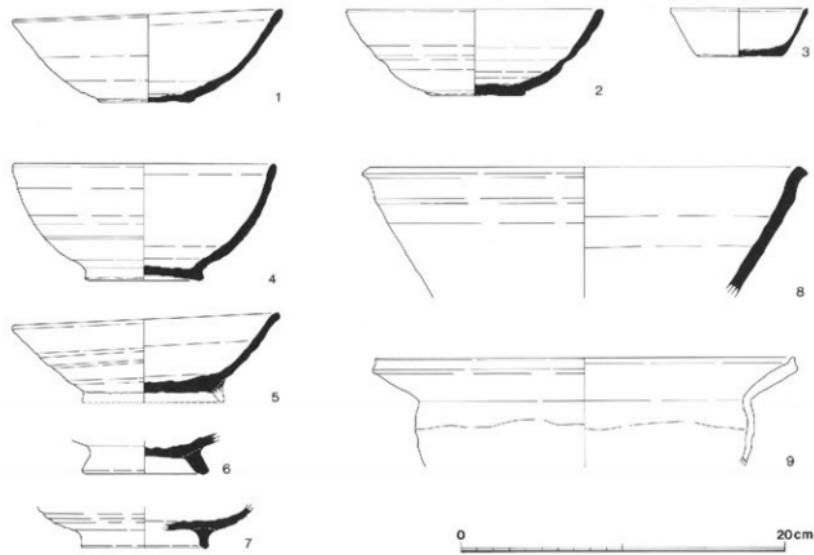


fig. 9 出土遺物実測図 1~3 包含層 4~9 S X01

**出土遺物** 遺物包含層中からは、須恵器、土師器が出土し、12世紀前半を中心とする時期の遺物が多くみられる。

遺構内からは、S X01で比較的多くの土器が出土している。須恵器からは11世紀中頃の時期が考えられ、神出遺跡群のなかでは最も古い時期に属すると考えられる。

### 3.まとめ

今回の調査で、調査地の南半に掘立柱建物が検出され、この付近に集落址が拡がっていることが確認された。また、これまでの神出遺跡群内の調査では、須恵器生産に関わったであろう集落について、良好な資料が得られておらず、当該地周辺の今後の調査でこの付近にひとつの集落址が確認される可能性が高くなつた。

## 2. 西神ニュータウン内第36号地点遺跡

### 1. 調査の経過

今回の調査地点は、これまでの西神ニュータウン内の発掘調査・試掘調査などから第36号地点遺跡としてマークされてきた遺跡である。遺跡の一部が、すでにニュータウンの外周道路の法面になっているために、遺跡から流出する遺物が法面に散乱しているような状況であった。

この地点で堅田地区との連絡道路の完成に伴い、自歩道を設置することになった。そこで、法面となっていたところが最大約4m新たにカットされることになったため、このカット部分について発掘調査を実施することになった。



fig. 10  
調査地点の位置! : 2500

### 2. 調査の概要

基本層序は第1層が表土層、第2層が黄色系の流出土層、第3層が砂質の一部岩を含む

基本層序 地山である。

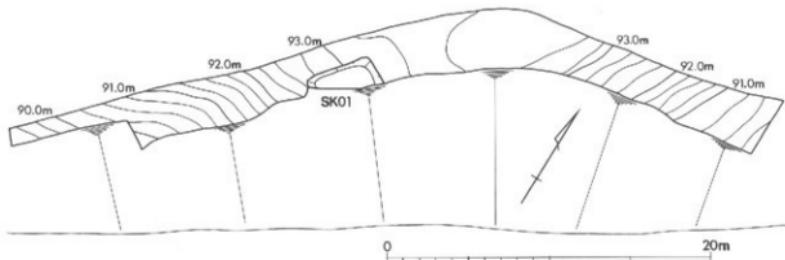


fig. 11 調査地区平面図

### 遺構

遺構は調査地内の丘陵頂部のやや南側で、一部をすでに法面としてカットされた状況で土坑が1基確認された（SK01）。

### SK01

この土坑は長辺4m以上、短辺2.2m以上、深さ30cmの長方形のものである。遺構内からは、土器の小皿が10数個体分出土している。これらは直径10cm程度で、すべて系切り底のものである。時期的には、平安時代末～鎌倉時代前半のものと考えられる。



fig. 12 調査地区全景（南から）



fig. 13 SK01全景（西から）



fig. 14 SK01土器出土状況（西から）

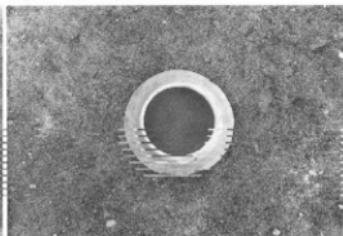


fig. 15 須恵器环身出土状況

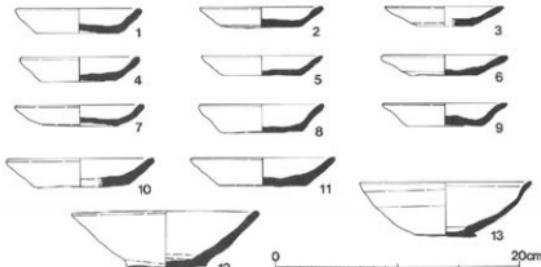


fig. 16 出土遺物実測図  
1~12 SK01 土器  
13 流土須恵器

### 3.まとめ

今回の調査では、面積が狭小であったため遺構も少なく、遺物量も少なかった。しかし、丘陵頂部付近の地山面直上からは、古墳時代後期の須恵器・环身が完形で1点出土しており、流土からも古墳時代後期前半の須恵器が比較的まとまって出土していることから、この付近にも古墳が存在していた可能性が考えられる。この丘陵の西側には古墳時代後期の古墳が保存されており、それに関連するような古墳が存在していたかもしれない。また、このような平野部からは相当奥まった地点においても、中世の遺物を伴う遺構が存在することは、当時の生活を考える上で注目される。

### 3. 玉津田中遺跡（平野地区）第5次調査

#### 1. はじめに

玉津田中遺跡は明石川中流域の左岸の河岸段丘および沖積地に位置し、兵庫県教育委員会の数回にわたる大規模な発掘調査において、縄文時代～中世の複合遺跡であると同時に、大規模な弥生時代の集落址であることが確認された。

平野地区では、平成元年度より土地改良事業に伴って発掘調査が継続して実施され、弥生時代前期～中世の遺構、縄文時代後期～中世の遺物が確認されている。

#### 2. 調査の概要

今回の調査は、先年度の調査区域の南側に連続する排水路設置計画部分（7～10トレanche）について行い、弥生時代前期～中世の遺構、縄文時代後期～中世の遺物が確認されている。



fig. 17  
調査地点の  
位置 1:2500

### (1) 7・8トレンチの調査

#### 基本層序

現耕作土下に弥生時代から近代に至る1～4枚の耕作土壌が堆積している。耕作土壌の間層には数次の洪水による粗砂や砂礫の堆積が見られる。最下層の耕作土層の下は砂礫または、精良粘土層が堆積している。これらの層からは、縄文時代から弥生時代の遺物が出土したが、2次堆積したものである。しかし、8トレンチ東端には弥生時代中期前半の遺構面が残されている。

#### 第1遺構面

7トレンチ北側を除く調査区の全域において11～13世紀の水田が検出された。8トレンチで遺存状況が良好な箇所では、畦畔や足跡が検出された。畦畔の方向は現在の圃場の畦畔とは一致せず、先年度までに確認された同時期の水田の畦畔の方向と一致する。



fig.18 8トレンチ中世の水田面全景(東から)



fig.19 8トレンチ中世の遺構面全景(西から)

#### 第2遺構面

7トレンチ北側付近では、現地表下約40cmで古墳時代前期の遺構面となる。この付近は微高地に当たり、現在の圃場開墾時に大きく削平されているため、当時期以降の遺構面は失われている。当時期の遺構面は、上層面および下層面に分けられる。

#### 上層面

流路が4条検出された。SD707～710は南西から北東へ流下する。切り合い関係からSD710→SD709→SD708の順に形成されていることが判る。

#### 下層面

流路が1条、土坑、不整形の落ち込みが検出された。

#### SD702

弧を描いて流れる可能性がある流路である。SD702の肩の痕跡と考えられる高まりが検出されたが、上層面で検出された流路の影響を受けており、断定はできない。埋土や土器の堆積状況からも確証は得られなかった。

#### SK701

調査区北端で検出された浅い方形の土坑で、性格は不明である。

#### SK751

不整形の落ち込み(SK751)も、ほぼ同時期の遺構である。後述するSD754の直上にあたる。埋土の状況から流水によるものではなく、滯水箇所に緩やかに堆積した状況がうかがえ、SD754はこの時期までに流路としての機能を終えている。

#### 第3遺構面

弥生時代後期の遺構面で、流路が多数検出された。各流路の検出レベルに若干の相違があるが、切り合い状況からSD752→SD753→SD754→SD755の順に形成されていることが判る。

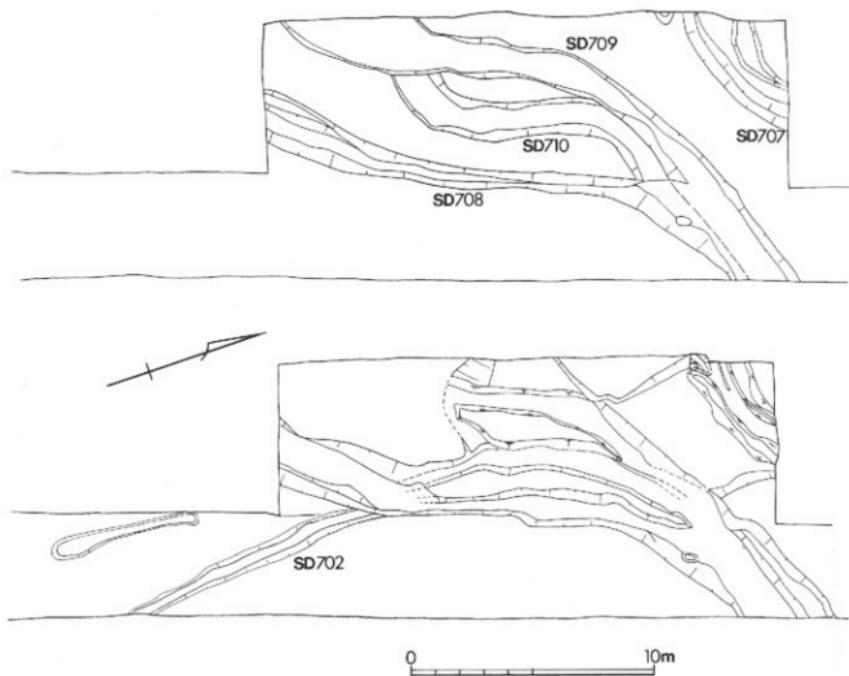


fig.20 7 トレンチ古墳時代前期の遺構平面図（上：上層 下：下層）



fig.21 7 トレンチ古墳時代前期の流路（上層）（東から）



fig.22 7 トレンチ古墳時代前期の流路（下層）（東から）

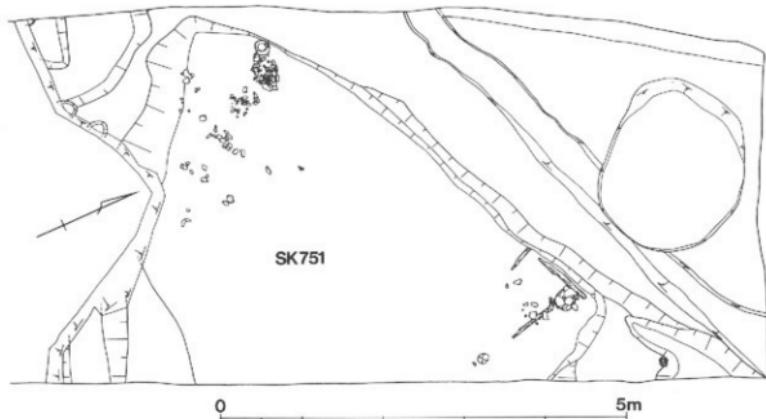


fig. 23 7トレンチ北端古墳時代の流路平面図



fig. 24 SK751全景（西から）



fig. 25 SK751土器出土状況（西から）

**S D752** 北東から南西に流れ、先年度調査のS D602と同一の流路である。東肩部分で杭が3本、ほぼ等間隔で検出された。

**S D753** 先年度調査時に検出されたS D603と同一の流路である。

**S D754** 東から西へ流れる流路で、土器と木製遺物をはじめとする植物遺体が残されていた。

**堰** S D752とS D754の合流部で、堰状の木組が検出された。杭を斜めに打ち込み、横木を渡して組んでいる。杭は直径約5cm、長さ50~60cmで、杭の間に、枝打ちした自然木、板、加工木などを横に渡している。

堰の周辺からは、鋤や鐵機などの木製品を始め、多くの植物遺体が検出された。木製品のうち、厚さ4mmの板を台形に加工した製品は、先年度出土した鳥形木製品の胴部から約4m離れた地点で出土した。同一の流路からの出土ではないが、中央部の穿孔が胴部の穿孔と一致し、鳥形木製品の羽の部分である可能性が高い。

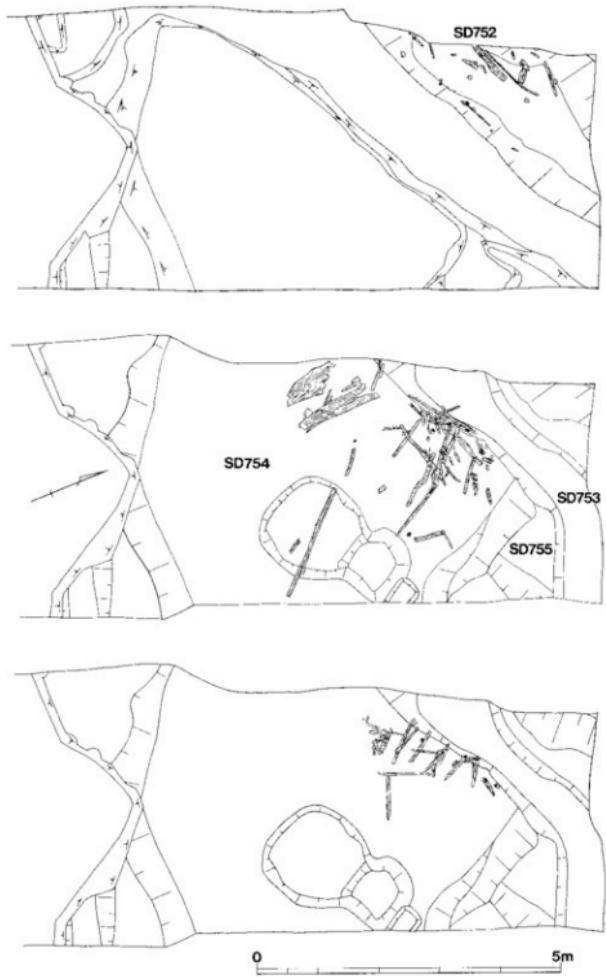


fig. 26 7トレンチ北側  
弥生時代後期の  
流路平面図

**第4 遺構面** 7トレンチ北側部分の微高地および流路の影響を受けている箇所を除き、今年度の調査区ほぼ全域で弥生時代後期以前の水田が確認された。

7トレンチ北半部分は遺存状況が悪く、畦畔の痕跡が検出されただけの箇所もあるが、良好に遺存している南側部分では、圃場面が洪水砂で覆われており、畦畔、足跡、水口が良好に検出された。また、8トレンチでは、調査区の約3/4が洪水の影響を受けており、東端部分で比較的良好な水田面を検出した。



fig. 27 SD 752近景 (東から)



fig. 28 SD 753~755全景 (西から)



fig. 29 塙近景 (南から)



fig. 30 一木鋪出土状況

#### 水田

北半部分の水田の形状や並びには規則性は見られないが、南半部分では水田35と水田36の間に流れる流路の方向に平行して大畦が築かれており、水田の形状や並びに規則性が見られる。なお、水田20は、畦の遺存状況が悪く水田の区分が明確ではない。2つの水田に分かれる可能性がある。

水田37と水田39の間では、緩やかな斜面と自然流路が確認された。緩斜面は水田の可能性があるが、畦が検出されず明らかにしがたい。

#### 水配り

水口が確認された水田37以外は、流水方向が特定できない。水口には斜め方向に板を差し込んであり、水位を調整していたと考えられる。

#### 足跡

多数の足跡が検出されたが、歩行状態は不明である。指の痕跡を残すものが数例あった。

#### 耕起痕

平行して2条、耕起痕が検出された。幅約10cm、深さ5cm程度である。

#### 時期

畦畔や耕土中からの遺物の出土は少なく、これらから時期を確定することはできない。

層位的には弥生時代後期以前の時期と考えられる。なお、9トレンチで検出された弥生時代の下層水田は存在しなかった。

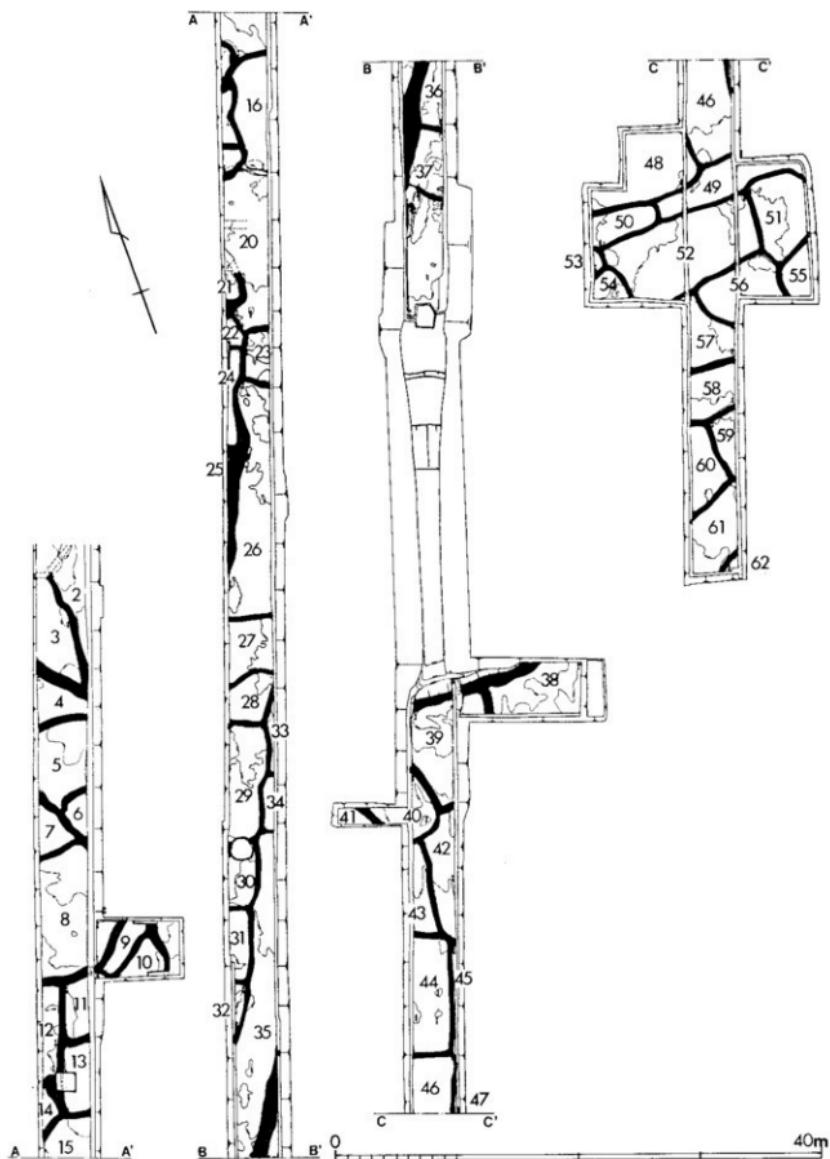


fig. 31 7・9 トレンチ弥生時代の上層水田平面図



fig. 32 7 トレンチ弥生時代の上層水田近景（南から）

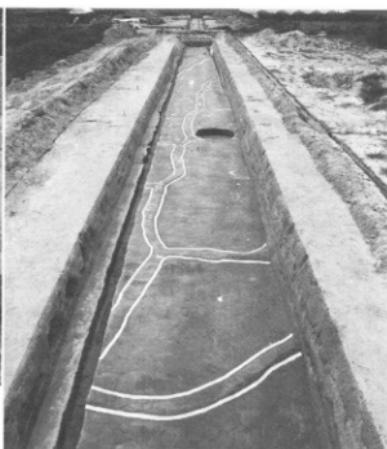


fig. 33 7 トレンチ弥生時代の上層水田全景（北から）

**第5遺構面** 木田面下で、黒灰色シルトをベースとする面が検出され、南北方向に延び、東へ落ちる遺構の肩が約70m検出された。形状から自然流路と考えられる。埋土からは縄文時代から弥生時代中期の遺物が少量出土した。

**第6遺構面** 8 トレンチ東端で検出された弥生時代中期前半の遺構面では、土坑、溝が検出された。

**S K 801** 不整形土坑で、甕と焼木・炭が出土した。遺構の壁面に火を受けた痕跡は認められない。

**S K 802** 甕が2個体検出された。

**S K 803** 規模は不明で、遺物の出土はない。

**S B 801** 遺構の一部を検出したにとどまるが、弧を描く形状と周囲に溝を巡らすことから竪穴住居址である可能性が高い。



fig. 34 8 トレンチ第6遺構面全景（東より）



fig. 35 S K 801近景（北より）

## (2) 9トレンチの調査

**基本層序** 9・10トレンチとともに、耕土、床土の下層に2～5層の旧耕土層が存在し、旧耕土層の下層上面が中世の遺構面となる。その下層は洪水砂層と水田層が互層となっており、最下層水田層のさらに下層は、水分を多く含むシルト層である。6面の遺構面が確認された。

**第1遺構面** 旧耕土層の下層上面で検出された遺構面である。時期の詳細な推定は難しいが、中世の遺構面と考えられる。拡張区も含めて、柱穴19基、杭列状遺構1箇所、溝1条（S D101）が確認されている。

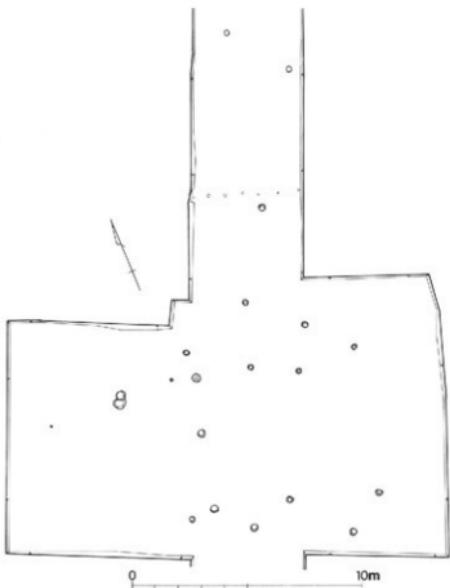


fig. 36 9トレンチ第1遺構面平面図



fig. 37 9トレンチ第1遺構面近景（北から）

**第2遺構面** 第1遺構面下層の厚く堆積した洪水砂層の下層で検出された水田面である。水田層とそれを覆う洪水砂層からの遺物の出土がないため、その時期は不明である。

**第3遺構面** 第2遺構面の水田層の下層の洪水砂層を除去した段階で検出された水田面である。水田層の遺存度がかなり悪く、トレンチの南端あたりの一部で確認された程度である。第2遺構面と同様に、水田層とそれを覆う洪水砂層からの遺物の出土がないため、その時期は不明である。

**第4遺構面** 7トレンチから連続して検出された水田面である。9トレンチでの遺物の出土はほとんどみられないが、7トレンチでは弥生時代中期～後期の遺物が、水田層とそれを覆う洪水砂層から若干出土しており、水田の時期を推定する指標になるものと考えられる。

**第5遺構面** 第4遺構面の水田層下層の洪水砂層上面で検出された遺構面で、トレンチの南端あたりで、溝が1条（S D102）確認されたのみである。遺物の出土はない。

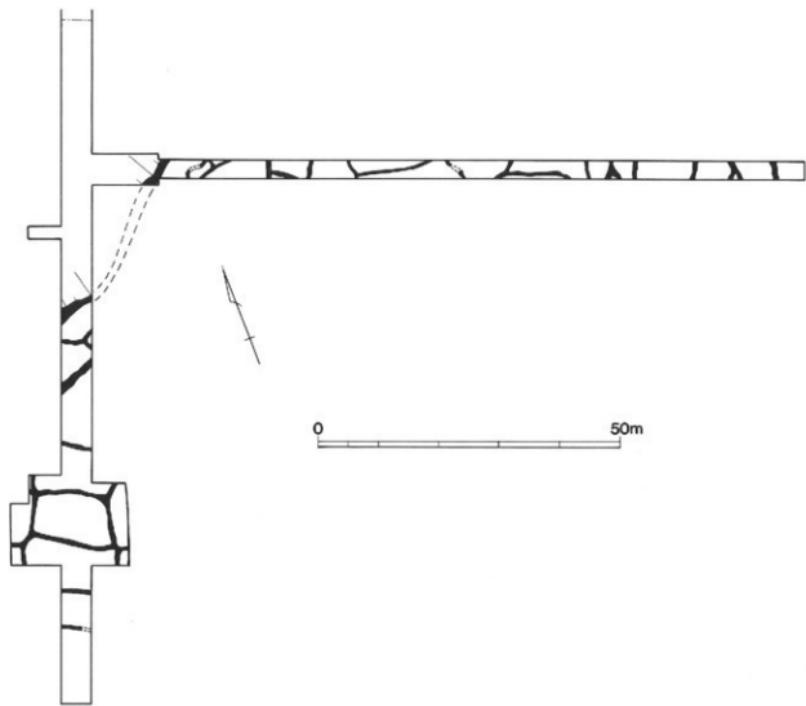


fig.38 9・10トレンチ第2遺構面平面図



fig.39 9トレンチ第2遺構面近景（北から）



fig.40 10トレンチ第2遺構面全景（西から）

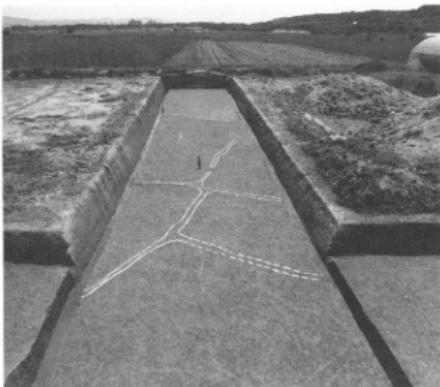


fig.41 9番トレンチ第3遺構面近景（北から）



fig.42 9番トレンチ第4遺構面全景（南から）



fig.43 9番トレンチ第4遺構面近景（南から）

**第6遺構面**

9番トレンチにおいて検出された最下層の水田面である。上層の水田面とはその様相がかなり異なり、1区画の平均面積が7～8m<sup>2</sup>程度の小規模な区画である。また、南北方向の畦畔がほぼ等間隔で、その間を東西方向の畦畔が任意に区画するような形状を呈し、整然とした水田配置となっている。

この水田面の時期は、水田層とそれを覆う洪水砂層から弥生時代前期末～中期初頭の遺物が認められるものの、特定するには至っていない。

**流路**

7番トレンチと9番トレンチの境界あたりに、北東方向から南西方向に流れる大規模な流路が走っており、かなり長期間にわたって機能していたと考えられる。この流路の創世期は不明であるが、第1遺構面下層の洪水砂層によって、完全に埋没し、廃絶に至っている。

流路内からは縄文時代後期～古墳時代の遺物が確認されているほか、加工木の破片も確認されている。

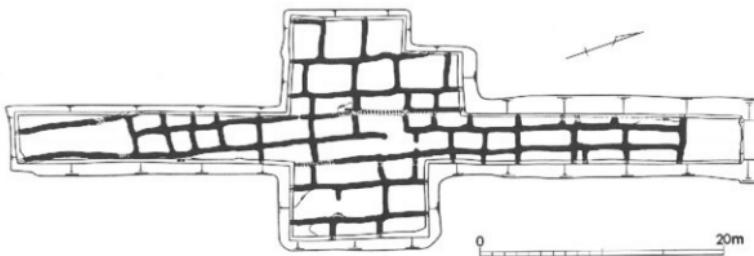


fig. 44 9 トレンチ弥生時代の下層水田平面図



fig. 45 9 トレンチ弥生時代の下層水田全景（北から）



fig. 46 9 トレンチ下層水田近景（西より）



fig. 47 9 トレンチ下層水田近景（南より）

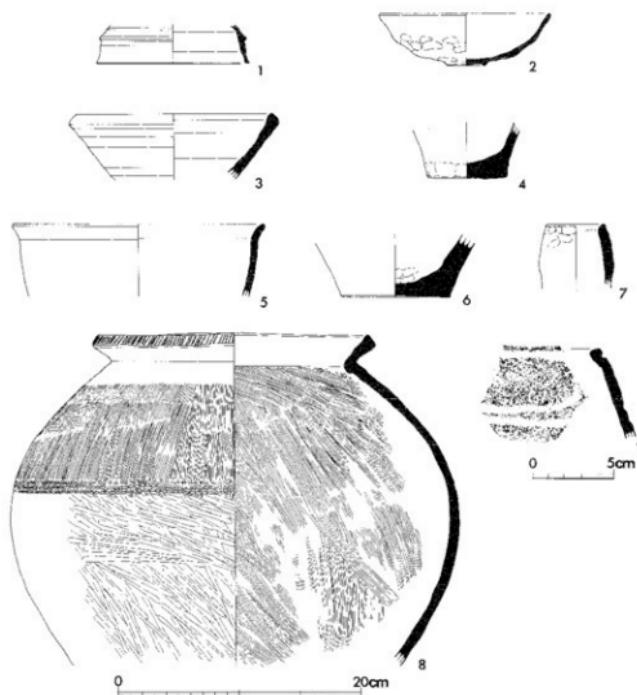


fig.48 9トレンチの出土遺物実測図

1～3 旧耕土  
4 上層水田  
5～9 流路内

## (3) 10トレンチの調査

今年度の調査は、事情により、工事の影響深度までは至らなかったが、2面の遺構面が確認されており（東端部は1面のみ）、それぞれ9トレンチの第1遺構面、第2遺構面にあたる遺構面である。

**第1遺構面** 旧耕土層の下層上面で検出された遺構面である。東端部で6条の溝状遺構（S D201～206）が確認されただけで、詳細な時期も不明である。

**第2遺構面** 9トレンチ第2遺構面の水田面に相当する遺構面であると考えられる。畦畔が数箇所において確認されたが、トレンチの幅が3mと小さいため、水田区画の規模は不明である。また、9トレンチと同様に水田層とそれを覆う洪水砂層からの遺物の出土がないため、時期の推定も難しい。

**3. まとめ** 今回の調査地は、明石川東岸の沖積地に位置しており、氾濫の影響を受けやすい地域である。今回の調査地も含めて、過去の調査においても、幾層もの洪水砂層が確認されており、かなり以前から、水利は良いものの、水による被害も多かったようと思われる。

今回の調査においては、特に、9トレンチで4面にわたる条里制施行以前の水田面が確認されており、大規模な水田運営の一端を垣間見た感がある。確認された4面の水田面は、水田区画や畦畔の規模、あるいは畦畔の方向性などがそれぞれ異なり、中には、遺存が悪

いため、その実態がよくわからなかった水田面もあるが、足跡や水口が比較的明確に認められ、水田資料としては良好である。これは度重なる洪水による微地形の変化が、その立地や水利に影響を及ぼしていることが、要因であると考えられる。

それぞれの水田面の詳細な時期は不明であるが、弥生時代前～中期頃からそれ以降の水田面であり、水田形状の変遷などがある程度理解することができた。また、先年度調査の6トレンチでは水田層が確認されておらず、SD601およびSD603が生産域を画したものと考えられる。さらに、当地域の東側丘陵上からその裾部にかけて存在する集落との関連が、今後の課題のひとつとして挙げられる。

7トレンチ北端では弥生時代後期の溝が多く検出されており、古墳時代前期まで流れを変えながら繼續して流れている。今回堰状の遺構が検出されたことで、先年度調査のSD603は、人為的な用水管理を行っていたことが追認できた。

弥生中期前半の遺構は、平野地区では丘陵上での遺構が確認されているが、沖積地での検出は初めてである。8トレンチ東端で検出された遺構は住居址の可能性もあり、この時期の集落の立地を知る資料となる。また、今年度の試掘調査において、弥生時代中期前半の良好な包含層が検出されており、集落が丘陵裾付近にも立地していたと推定される。

## 4. 印路遺跡

### 1. はじめに

当該地は、明石川右岸の氾濫原上に位置しており、印路遺跡の南端に位置する。周辺には、玉津田中遺跡、中村古墳群、印路群集墳などが存在する。印路遺跡は、昭和63年度からの調査で、旧石器時代から近世に至るまでの遺構・遺物が確認され、長期間にわたる複合遺跡であることが明らかになっている。

この度、県道野村明石線の道路拡幅計画に伴い、試掘調査を平成2年11月16日に実施した。その結果、7箇所設定した試掘坑のうち1箇所より、遺物包含層と下層に水田土壌が確認されたため、当該地において、埋蔵文化財に影響を及ぼす擁壁部分について発掘調査を行うこととなった。



fig. 49  
調査地点の  
位置 1:2500

### 2. 調査の概要

調査は、遺物包含層上面まで機械で掘削し、以下を人力により掘削・精査を行った。

#### 第1遺構面

淡灰褐色粘性砂質土層掘削後、淡灰色砂質土層上面で検出した。1トレンチでは、耕作痕と思われる細い溝状遺構を検出した。3トレンチ西端では、南北方向の幅約1mの溝(S D01)、2・4トレンチでも、南北方向の幅約1mの溝を検出した。覆土中からは、須恵器・土師器の小片が出土している。

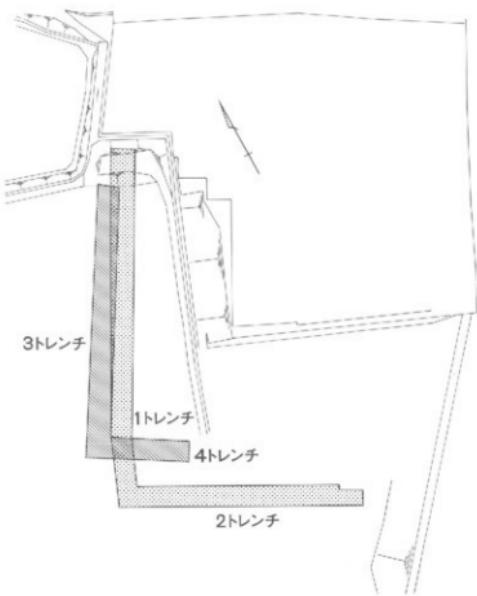


fig. 50 調査区設定図 1:500



fig. 51 1トレンチ第1遺構面全景（北から）



fig. 52 2トレンチ第3遺構面全景（東から）

**第2遺構面** 上層の水田面である。畦畔は1・3トレンチ南半、および2トレンチ中央部で確認した。畦畔の高さは約10~15cmである。水田耕土と思われる土壤の上面には、足跡状のくぼみが存在した。覆土には時期不明の須恵器の小片を含んでいた。

**第3遺構面** 青灰色シルトの無遺物層を挟んで検出した下層の水田面である。調査区の南西部は、顯著に洪水砂が覆う。畦畔は、1トレンチ南半、2トレンチ、3トレンチの中央、そして4トレンチの西半で検出した。

水田区画は、等高線に沿うように、北東から南西の方向に長い畦畔をつくり、その間を直交する短い畦畔で区切っていたようである。

畦畔どうしは十字に交わる箇所ではなく、すべてT字形に交わる。

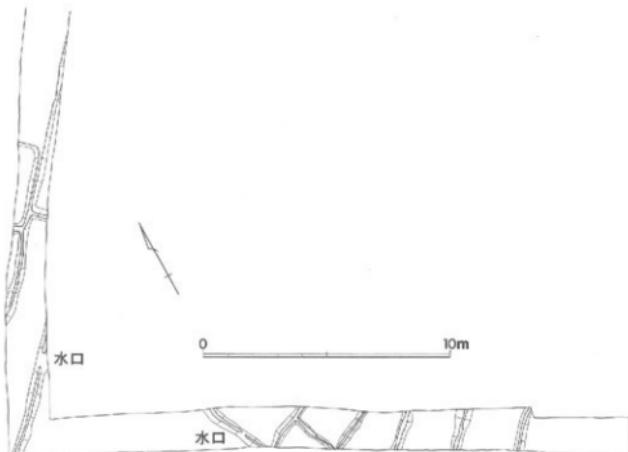


fig. 53 1・2トレンチ  
第3遺構面平面図



fig. 54 1トレンチ南半第3遺構面近景（北から）



fig. 55 2トレンチ畦畔の断面

畦畔の大きさは、高低差の少ないところでは幅約30cm、高さ約10cm、高低差のあるところでは、幅約50cm、高さ15cm程度である。

水口は、1トレンチの南端と、2トレンチの西端の2箇所で検出した。

1・3トレンチの北半は、微高地になる。また、2トレンチの西端部分が、一番低くなっている。ここは、断面観察では洪水砂直下が黒色粘土となり、耕土と考えられる暗灰色粘土が存在しない。水田ではなく、湿地状になっていた可能性もある。

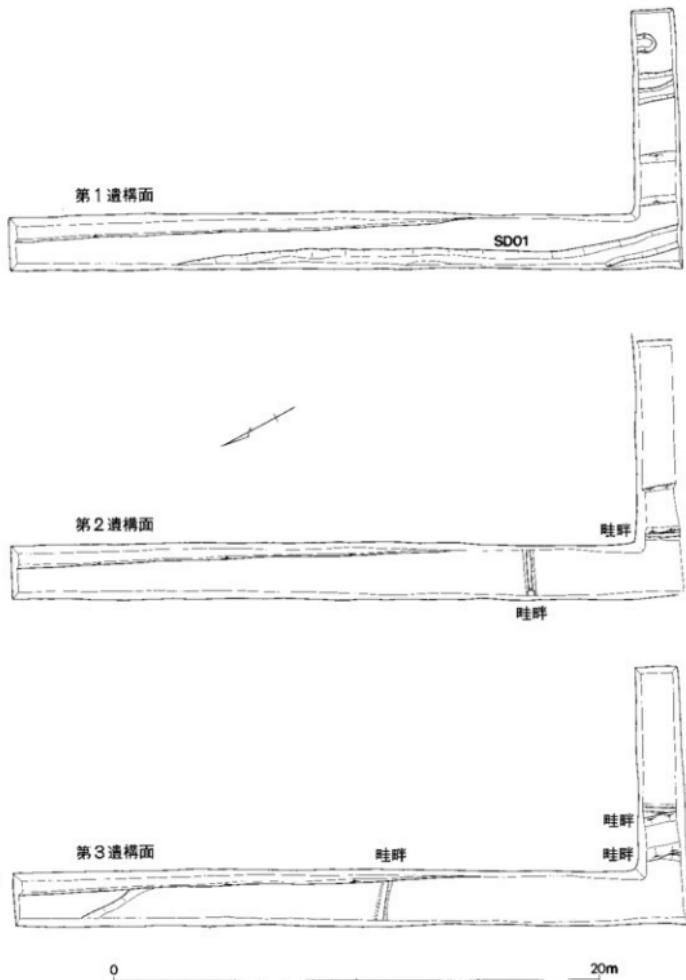


fig. 56  
3・4トレンチ平  
面図



fig. 57 3 トレンチ第1遺構面（南から）



fig. 58 3 トレンチ南半第2遺構面近景  
(南から)

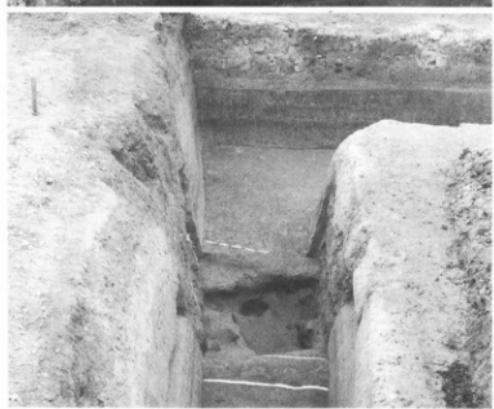


fig. 59 4 トレンチ第3遺構面近景  
(東から)

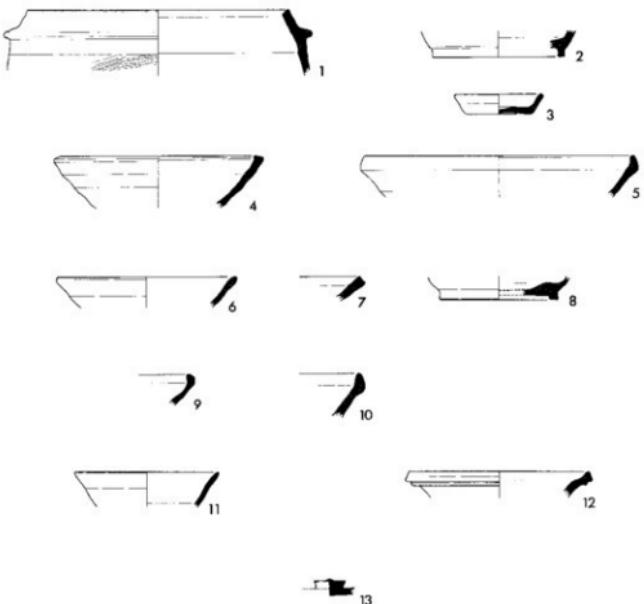
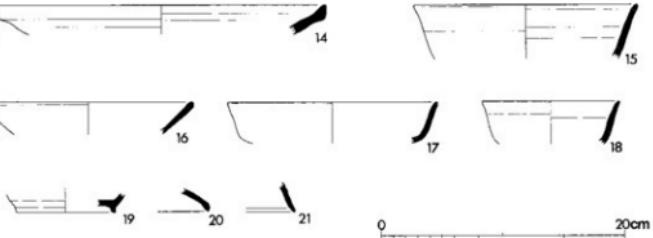


fig. 60  
出土遺物実測図

- 1 ~ 5 暗灰色砂
- 6 ~ 10 淡灰色シルト
- 11 ~ 12 淡青灰色砂
- 13 黄灰色粘土
- 14~21 SDOI



遺物は、耕作土の直上で出土した小片で、時期は弥生時代のものと考えられる。

### 3.まとめ

今回の調査では、3面の遺構面が確認された。各面とも水田あるいは畑であり、住居などの遺構は、西側の段丘上に存在したと考えられる。

第1遺構面は中世以降、第2遺構面は古墳時代以降、第3遺構面は弥生時代と考えられる。特に、下層の水田面では明瞭な畦畔が検出できた。この地域の弥生時代の生産基盤を考えるうえで、重要な資料である。

また、下層水田層の下に存在する黒色粘土層から、縄文時代晩期の土器（滋賀里IV式）が出土しており、平成元年度調査で出土した縄文土器と共に、貴重な資料といえる。

## 5. 出合遺跡 第27次調査

### 1. はじめに

出合遺跡は日本道路公団が計画した「出合ふれあいの街」の造成に伴って、昭和52～59年にかけて行われた19次におよぶ調査によって、その内容が具体的に知られるようになった遺跡である。

主な遺構には、古墳時代中期～後期の堅穴住居址群、円墳3基・方墳1基、帆立貝形古墳（亀塚）、8世紀後半の掘立柱建物址、8世紀～10世紀の井戸、平安時代後半～鎌倉時代の掘立柱建物址群、平安時代の窯跡、そしてそれ以降の水田跡などがある。

また、都市計画道路明石国包線建設に先立って、昭和60年から平成3年にかけて4次5回にわたって実施した調査では、弥生時代中期の柱穴群、弥生時代後期の流路、水田跡、平安時代末から鎌倉時代の掘立柱建物址群などが確認されている。



fig. 61  
調査地点の位置  
1:5000

### 2. 調査の概要

今回の調査は、平成2年度末～3年度にかけて行ったもので、調査面積は2100m<sup>2</sup>である。

調査区は南北に延び、中世の水田面はほぼ全域に広がるが、弥生時代を中心とする遺構には南に片寄りがみられた。弥生時代前期までは自然河川の氾濫原であったものが、弥生時代中期には方形周溝墓群が営まれる。古墳時代には流路と共に稲作の植物を利用した水路状の施設が築かれ、奈良時代以降は水田として利用されていたとみられる。

#### 弥生時代の 遺構

方形周溝墓群は調査区南端に位置し、可能性のあるものも含めて7基を検出した。いずれも周溝掘削土を盛り上げて墳丘としている。各周溝墓とも周溝内出土遺物から弥生中期前葉に比定される。

流路01

調査区中央西端付近に現れ、南東方向から南西に流路を変えさらに二股に分かれる。流路01は調査区西端では幅4.0m、深さ60cmである。調査区中央付近の分岐点手前に多數の丸木杭が集中して打ち込まれたSX01がある。SX01は流路02との分岐点に設けられた堰的な施設の一部(SX01-1)と護岸的な施設の一部(SX01-2)に分かれる。

S X01

SX01-1は流路西岸を南北方向に2列の丸木杭群を打ち並べ、北側では自然木や1m前後の丸木杭を合掌状に2列の丸木杭列に絡ませていたとみられる。SX01-2は流路01-1の北岸の設けられた護岸的な施設の一部である。



fig. 62  
空からみた調査地区

周溝墓番号	墳丘の規模	主 体 部	出土遺物
第1方形周溝墓 (ST01)	南北5.0m、東西4.5m	組み合わせ式木棺1基（南北主軸） 長さ134cm、幅45cm、深さ15cm	弥生土器・打製石槍 (周溝)
第2方形周溝墓 (ST02)	南北3.7m、東西5.1m	組み合わせ式木棺1基（南北主軸） 長さ109cm、幅38cm、深さ18cm	打製石槍（棺内） 弥生土器（周溝）
第3方形周溝墓 (ST03)	南北8.1m、東西6.6m	組み合わせ式木棺1基（南北主軸） 長さ120cm、幅50cm、深さ13cm	弥生土器（周溝）
第4方形周溝墓 (ST04)	南北3.8m、東西3.8m	組み合わせ式木棺1基（南北主軸） 長さ136cm、幅41cm、深さ27cm	
第5方形周溝墓 (ST05)	南北4.2m、東西4.2m	組み合わせ式木棺1基（東西主軸） 長さ115cm、幅47cm、深さ18cm	
		組み合わせ式木棺1基（南北主軸） 長さ97cm、幅33cm、深さ10cm	
第6方形周溝墓	?	?	
第7方形周溝墓	南北5.3m、東西5.5m	?	

表1 出合遺跡第27次調査 方形周溝墓一覧



fig. 63 ST04全景（南から）



fig. 64 SD06土器出土状況（南から）



fig. 65 流路01 SX01全景（南から）



fig. 66 流路04水路状施設近景（東から）



fig. 67 方墳周溝墓群全景  
(南から)

古墳時代以降 後世の削平により、弥生時代の面と同一面で古墳時代から奈良時代にかけての遺構も検出した。

- S D 09** 調査区南西隅よりほぼ南北に延びる溝で、長さは47m、幅は1.2m、深さは20cmである。
- S D 11** 調査区のはば中央に位置する南北溝で、部分的に蛇行しながら調査区を貫く。長さは25mで、幅は0.4~2.5m、深さ10~30cmである。出土遺物から奈良時代の遺構とみられる。
- S X 04** 調査区北半に位置する不整形の水溜め状遺構である。長径12.5m、短径4.0m、深さ70cmである。自然木のほか、小型丸底壺が出土している。
- S D 10** S D 09より派生し、北西に延びる溝である。幅60cm、深さ5cmで、中央付近に幅3.0m、深さ10cmの水溜め状の施設をもつ。出土遺物から古墳時代後期とみられる。
- S D 11** 調査区のはば中央に位置する南北溝である。長さは25mで、幅は0.4~2.5m、深さ10~30cmである。出土遺物から奈良時代の遺構とみられる。
- 流路04** 調査区南端に位置する流路である。幅は10m、深さ50cmで、西岸に杭で囲んだ中に稻科の植物を敷き詰めた水路状の施設を持つ。流路内から布留式土器が出土している。

### 3.まとめ

今回の調査で確認できた主な遺構は方形周溝墓群と水路があげられる。

方形周溝墓群は土器による新旧の差ではなく、ほぼ1型式の間に造墓を終えたものとみられる。これらの内、周溝に重複関係を持つものがあり、これをもとに造墓の順序について整理しておきたい。周溝の重複関係からS D 02・S D 07よりS D 08が新しく、S T 04はS D 02に先行する。S D 07とS D 02は続いているとみられ、これらから築造順序は以下の通りとなる。第4方形周溝墓→第5方形周溝墓→第3方形周溝墓となり、第6方形周溝墓と第2方形周溝墓は第3方形周溝墓と周溝を共有しており、明確な重複関係がみられないことからほぼ同時に造墓が行われたとみられる。以上のことからおよそ北から南の方向に造墓活動が行われたとみられる。

なお、調査の詳細については、『出合遺跡第27次発掘調査報告書』1994.3.刊行を参照されたい。

## 6. 出合遺跡 第28次調査

### 1. はじめに

遺跡は明石川の下流域西岸、標高12~15mの沖積地とその西側の台地上にある。これまでの調査で、弥生時代後期の遺構や、古墳時代の竪穴住居址、帆立貝形古墳などが確認されている。

今回、宅地造成に伴い、埋設管部分の調査を行うことになった。調査区は、幅約2m、長さ約25mと約30mのT字形のトレンチである。調査区の名称は、南北方向を1トレンチ、東西方向を2トレンチとし、それぞれに付随する小トレンチを、西から3・4・5トレンチとした。

調査は、機械により盛土・旧耕土を包含層上面まで掘削し、以下を人力で掘削調査した。



fig.68  
調査地点の位置  
1:2500

### 2. 調査の概要

基本層序は、盛土・耕土・床土・旧耕土があり、遺物包含層となる。その下層は、灰褐色粘質土・暗灰色粘質土・褐色シルトである。

#### 遺構

北西から南東方向の溝（S D01）と、北から南への溝（S D02・03）、西から東への溝（S D04・05）、土坑1基、ピット数基を検出した。

#### S D01

S D01は、幅約2m、深さ約80cmである。1トレンチ部分では、最上層で小型丸底壺が出土した。2トレンチ部分で、須恵器の杯蓋・高杯が出土している。

#### S D02

S D02は、幅約1.2m、深さ約40cmである。

#### S D03

S D03は、幅約1.5m、深さ約40cmである。

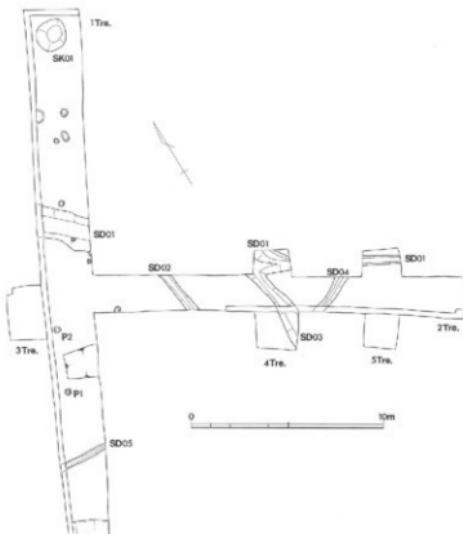


fig. 69 調査区平面図

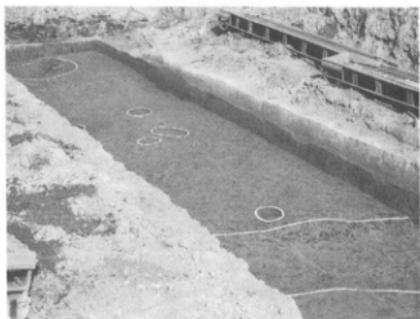


fig. 70 1トレンチ北半の遺構（北西から）



fig. 71 2トレンチ遺物出土状況

**SD 04・05** SD 04・05は、幅約1.2m、深さ約40cmである。土層断面からは、他の溝とくらべて一時期古いようである。

**SK 01** SK 01は1トレンチ北端で検出した直径約1.6m、深さ約20cmの土坑である。土師器が出土している。炭も混入していた。

**柱穴** 柱穴1・2は、ともに直径約30cm、深さ約40cmである。柱穴1では、木材が残存している。遺物は、土師器の小片が出土している。

**遺物** 遺物は、主にSD 01と2トレンチの包含層から出土した。土師器、須恵器の他に、鉄器、石製鋸鉋車も出土した。時期は古墳時代である。

## 7. 柄木遺跡 第7次調査

### 1. はじめに

柄木遺跡は櫛谷川の中流域、西区櫛谷町柄木・谷口の櫛谷川両岸段丘上に所在する。今回の調査地は谷口川と櫛谷川の合流点付近で、櫛谷川左岸の段丘先端部に位置する。後背丘陵はいくつもの細い谷が入りくみ、複雑な地形をしている。柄木遺跡は昭和60年以降調査が行われ、弥生時代中期から中世までの遺物・遺構が確認されている。今回の調査は、西神地区開発事業（西神第2地区谷口連絡道路建設）に伴う埋蔵文化財発掘調査である。

### 2. 調査の概要

#### 基本層序

調査地は東側の丘陵から緩やかに傾斜して、西端で段丘崖となっており土層の堆積も同じ状況を示している。基本層序は上層より、圃場整備時の盛土、圃場整備前の現代耕土、旧耕土、旧床土、灰色砂（厚さ10cm、弥生時代中期の遺物包含層）、淡黄褐灰色細砂（厚さ10～20cm、弥生時代中期の遺物包含層で、上面が第1遺構面）、暗灰色細砂（厚さ15～30cm、弥生時代中期の遺物包含層で、上面が第2遺構面）、淡褐色細砂（厚さ40cm、上面が第3遺構面）である。第1遺構面である淡黄褐灰色細砂は調査区全体に見られる層ではなく、中央やや西寄りのわずかな範囲で確認されている。また、第2遺構面である暗灰色細砂は調査区の東半では暗灰色をしているが、西半では黒褐色となっており、サスカイト製の石器が多く確認されている層である。淡黄褐灰色細砂および暗灰色細砂はどちらも弥生時代中期後半の遺物を含む層である。



fig. 72 調査地点の位置 1:2500

- 第1遺構面** 第1遺構面では土坑1基、溝3条、ピット14基、流路1条が検出された。
- S K01** S K01は長さ80cm、幅50cm、深さ10cmの長方形の土坑で、中から土器片が1点のみ出土した。
- S D02・03** S D02・03はいずれも幅約30cm、深さ10cm程度の溝で、検出された長さはS D02が1m、S D02が7mである。遺物は土器が若干出土している。
- S D04** S D04は当遺跡の第3遺構面の時期に形成された流路で、第1遺構面において完全に埋没したものである。規模は幅2.2m、深さ20cm、調査区での長さ約30mである。

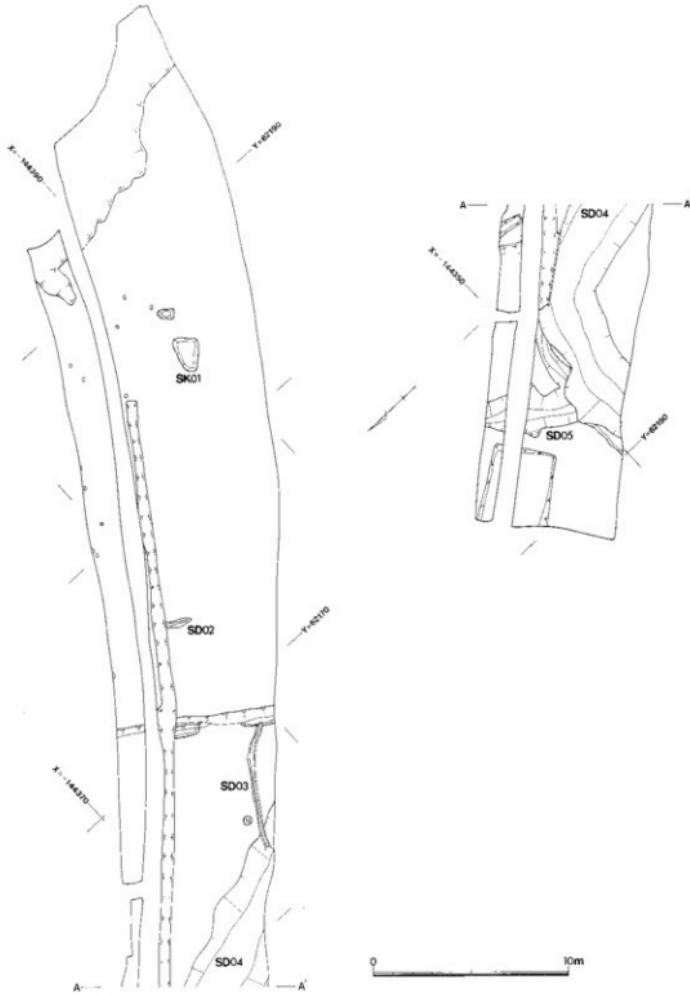


fig. 73  
第1遺構面  
平面図

## 第2遺構面

第2遺構面では流路2条・溝1条が検出された。

S D 04は第1遺構面で検出されたものであり、第2遺構面においては中層が確認されている。埋土は小疊～中疊であり、この時期まで比較的大きな流れであったと考えられる。遺物が若干検出された。

## S D 05

S D 05はS D 04に流れ込む流路で、幅2m、深さ20cm、長さ4mが検出された。土器片が若干出土した。

## S D 06

S D 06は調査区中央で検出された溝で幅1.5m、深さ20cm、長さ約6mが検出されている。土器片が若干出土した。



fig.74 第1遺構面全景（西から）



fig.75 第2遺構面全景（西から）

## 第3遺構面

第3遺構面では土坑7基、溝10条、ピット約100基、流路2条が検出された。

## S X 02

S X 02は幅2m、深さ50cmの土坑で、全体の規模は遺構が調査区外に拡がるため不明であるが、長さ約4mが確認されている。遺構内からは、ほぼ完形の壺1点・甕1点の他、サスカイト製石鏃1点・石鏃未製品2点・サスカイト剥片が出土した。

**S X04** S X04は2m×1.5mの土坑であるが、南側がS D04によって切られているために全体の規模は不明である。形態は円形の土坑が2基重なりあったようであり、東側が一段深くなっている。中から土器片・サヌカイト片が出土した。

**S K04** S K04は1.3m×1.0m、深さ30cmの円形の土坑で、S D04によって上面が削られて、遺構面からの深さは当初は約60cmあったものと考えられる。遺構内には炭が詰まっており、土器片・木片の他に石鍛1点・石器5点を含むサヌカイト片が多く出土した。

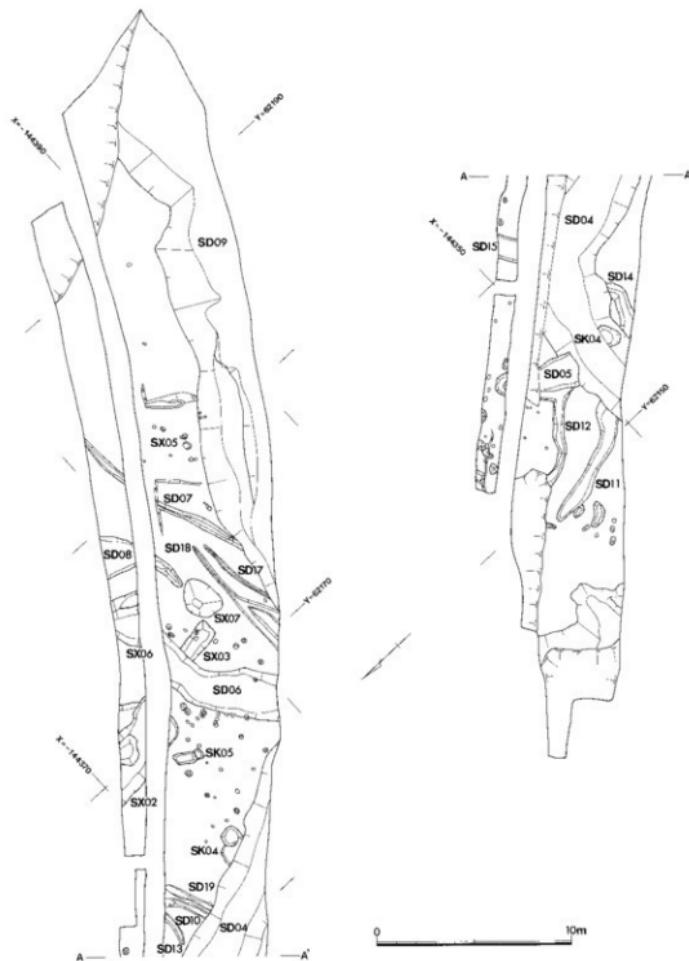


fig.76  
第2・3遺構面  
平面図



fig. 77 第2・3遺構面全景（東から）



fig. 78 第3遺構面全景（西から）



fig. 79 SX02遺物出土状況（北から）

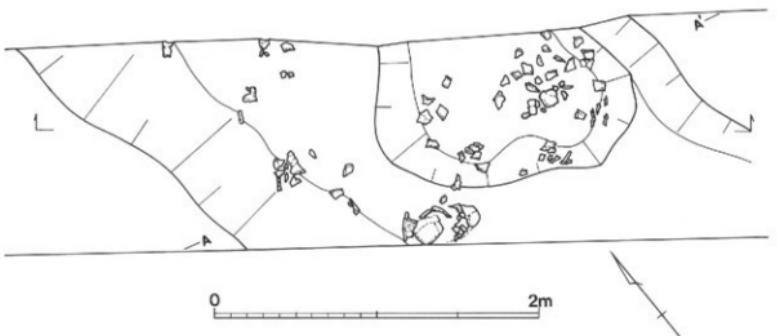


fig. 80 SX02実測図

その他の土坑も長さ2m、深さ20cm前後のもので、遺構内からは土器やサヌカイト片が出土した。

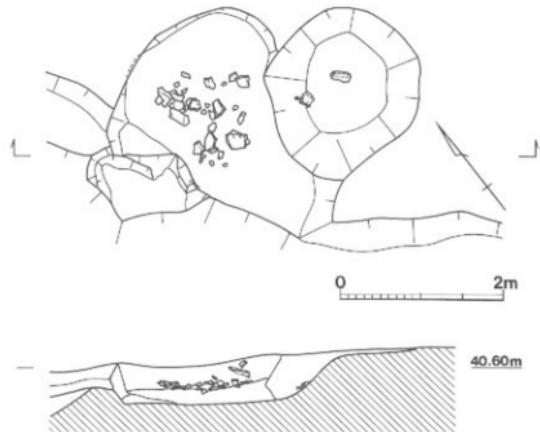


fig. 81 S X 04実測図

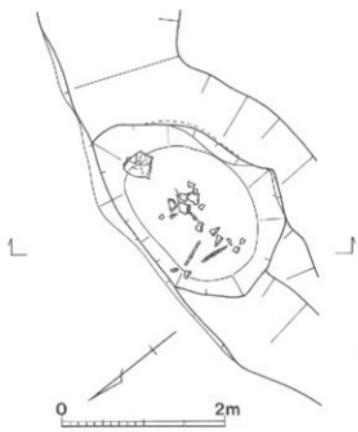


fig. 83 S K 04全景（北西から）



fig. 82 S K 04実測図



fig. 84 S X04全景 (北西から)



fig. 85 S X03遺物出土状況 (北東から)

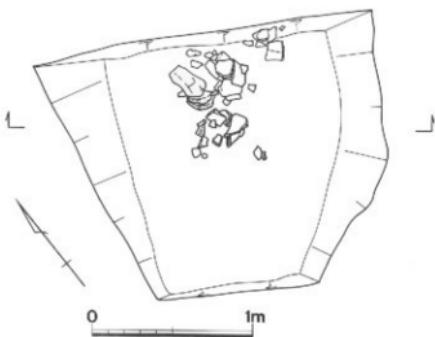


fig. 87 S D08遺物出土状況 (南から)



fig. 88 S D04実測図

**S D04** S D04は幅2m、深さ1mの流路で調査区の中央から南側にかけて検出された。緩やかに蛇行しており、調査区内の中央寄りから一度調査区の南側に曲がり、再び調査区の西端で検出されている。調査区内での長さは約30mである。

**S D08** S D08は幅4m、深さ20cmの溝で、長さ約2mが検出されたが、遺構が調査区外に拡がるために全体の規模は不明である。遺物は土器片その他に楔形石器が1点出土した。

**S D09** S D09はその大半が調査区外に拡がるため全体の規模は不明であるが、調査区内では幅4~5m、深さ1m、長さ30mが検出されている。中層からほぼ完形の変形土器2点が出土している。このS D09は谷口川の旧河道であったと考えられる。

その他、溝が10条検出されたが、いずれも幅20cm、深さ約10cmの浅い溝である。遺物は土器片とサムカイト片が若干出土した。

柱穴は約100基検出されたが、建物等になるかどうかは不明である。中から土器片が若干出土した。

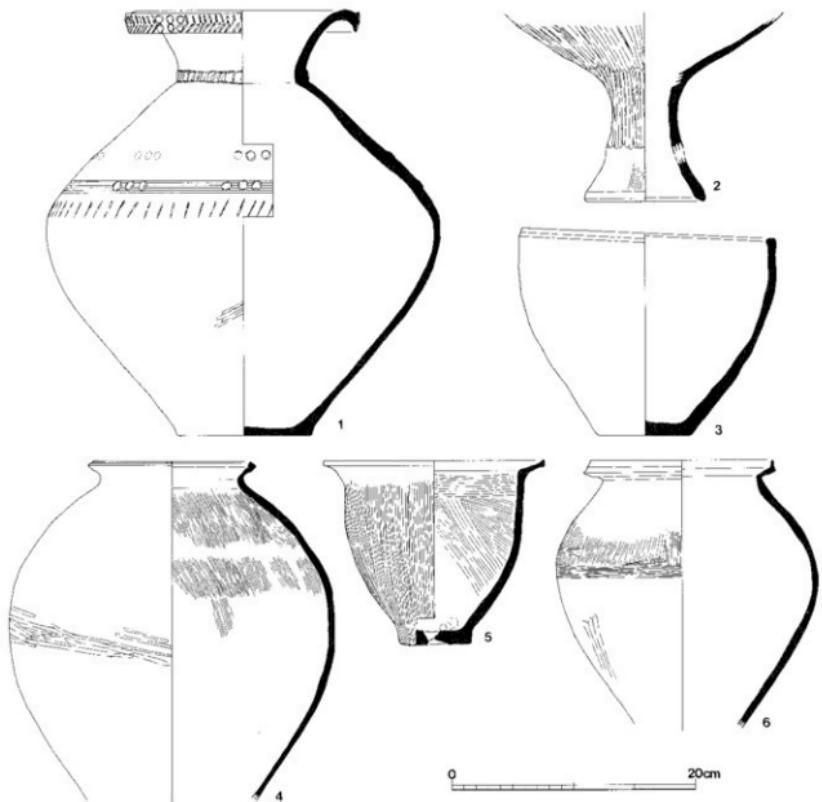


fig.88 出土遺物実測図 1～3 SX02 4 SX06 5 SD09 6 灰色砂

#### 3. 遺物

遺物は、弥生時代中期のものが大半で、古墳時代の遺物もわずかながら確認されている。ほとんどの土器は磨滅がひどく、細部に至る検討が行えていないが、器種別では壺の割合が高いものと考えられる。また、壺のうち、胎土が当地域産のものであるが、器形の特徴から他地域の影響を受けていると考えられるものも含まれており、何らかの交流があったものと考えられる。

#### 4. まとめ

今回の調査では弥生時代中期後半の3面の遺構面が確認された。検出された遺構は土坑や溝のみであるが、遺物の出土状況から今回の調査区は集落の一部に当たるものと考えられる。しかし、調査区内においては第3遺構面の時期に旧河道が遺構を切るように貫流し、第2遺構面、第1遺構面と遺構の分布が希薄となることからこの地の活用頻度は低下していたものと考えられる。周辺で確認されている西神ニュータウン内第65号地点遺跡・如意寺裏山遺跡などの同時期の遺跡との関係が今後の検討課題となるであろう。

## ふたつや遺跡 8. 二ツ屋東遺跡

### 1. 位置と環境

二ツ屋東遺跡は、明石川の支流である櫛谷川下流域左岸に位置する。遺跡は東側に広がる段丘の裾に立地し、標高18m前後である。

当遺跡周辺には、数多くの遺跡が知られている。北方の丘陵裾に広がる弥生時代・平安時代の集落跡である西神ニュータウン内第62号地点遺跡、西方には横穴式石室を有する松本古墳群や弥生時代の高地性集落として知られる青谷遺跡、南方には弥生時代から鎌倉時代にわたる高津橋、今津の両遺跡などが広く知られている。

### 2. 調査経過

当該地は平成3年9月・10月の二度にわたって試掘調査を実施した。その結果、遺物包含層および遺構が確認されたため、同年12月6日から道路拡幅部分約700m<sup>2</sup>について発掘調査を実施した。また、拡幅・新設予定地として買収されている部分について試掘調査をあわせて行った。



fig. 89  
調査地点の  
位置 1:2500